

第58回 旭川北高等学校 同窓会

旧交を温める



旭川市中・市高 北高同窓会 総会・懇親会
と き/2024年8月11日（日曜日）午後6時
ところ/アートホテル旭川



市中



市高



北高

3階ボールルーム<旭川市7条通6丁目>

主催/第58回旭川北高等学校同窓会実行委員会

校歌

明るく普通の速さで

1.あ た ー ら し ー き ぶ ん か り ー の は な の さ
3.か ぐ ー わ し ー き み ど り ー の ゆ う ベ は

ん ー ら ん と の や が て か お ら む み
く ー よ う の き ば て な さ お く あ さ

ず ー き ー よ ー く や ま ー む ら さ き ら に が め
ゆ ー ひ ー い ー で た ま ー す む さ こ ら

ぐ ー り ー た ー る ま な び の に わ よ あ
ど ー い ー し ー て ほ ま れ を う た う み

ふ る る よ ろ こ こ び の い ざ て を と り て や
よ る み よ そ こ く の ゆ く て は あ ら た や

む な き ー あ ゆ み に ま こ と り を と め む
む な き ー の ぞ み に ひ か と り を と え む

校歌

木村五一 作詞
津田 甫 作曲

一、

新しき文化の華の
燦爛とやがて薫らむ
水清く山紫に
めぐりたる学びの庭よ
溢れる歡喜いぎ手を把りて
止むなき向上に真理を尋めむ

二、

逞しき腕の力は
遠つ代の祖に承けたり
汗あゆるその勤勞の
成せる郷土豊けき穰
とこしへ榮行くこの世に生きて
止むなき教養清純を讃めむ

三、

かぐはしき緑の夕
白瑤の樹水咲く朝
眉秀で魂澄む子等が
まどろして誉を謳ふ
見よ見よ祖国の前途は新
止むなき希望に光明を添へむ



ご挨拶

北海道旭川北高等学校同窓会会長
山本 淳一（北高28期）

会員の皆様、旭川北高同窓会活動に深いご理解とご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

令和元年8月に同窓会長を拝命して5年となりますが、コロナ禍のため一昨年まで本会同窓会総会、会長としての同窓会の開催は昨年、に続き2回目となります。

そんな中、本年当番期であります47期の長町康隆委員長をはじめとする実行委員会の皆様には実際の参加体験もない状態での企画や打合せでご苦労をかけたと思いますが、「旧交を温める」と言うテーマをもって第58回旭川北高同窓会が8月11日（日）に開催される運びとなりました。そして昨年は開催出来なかった北高同窓会親睦ゴルフコンペも復活開催されます。当番期の皆さんには数少ない実行メンバーでの開催改めて感謝申し上げます。

北高同窓会は旭川で毎年行われる北高同窓会のほか、これも毎年開催される札幌同窓会、そして隔

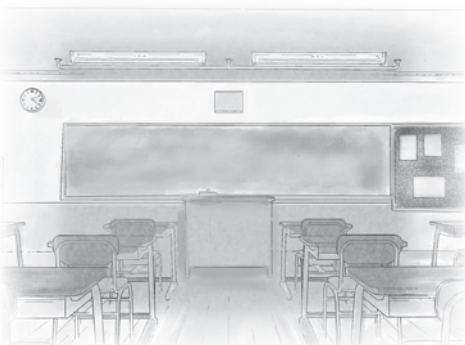
年開催の東京同窓会があります。どれも実行委員の方々が手弁当で準備を行い開催される会であります。その他数年前までは北高祭のお手伝いなどもやっておりました。

母校北高の話になりますが2024年3月卒業生は阪大、東北大をはじめとする国立大に170名の現役合格者を出しております。部活動でもアーチェリー部や少林寺拳法部を始めとする部活動が全国大会に出場しております。名実共に文武両道の旭川北高になったと思います。そして3月1日に全日制第74回・定時制第68回卒業式が行われ全日制・定時制を合わせて240名が母校を巣立ちました。市立旭川中学校からの通算卒業生は28600名を超えております。卒業生には同窓会行事にも興味を持って参加していただきたいと思っております。

旭川北高は全日制・定時制が一緒に入学式、卒業式を行う数少ない学校です。そして同窓会も旭川市立中学・旭川市立高校・北海道

旭川北高が一緒になり全日制・定時制の区別なく同窓会活動を行っております。自立創造向上の精神は同窓会にもそのまま受け継がれております。

最後になりますが母校北高のますますの発展と北高同窓会の繁栄並びに会員の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。



学校長あいさつ

北海道旭川北高等学校長
北村 京一



本日は令和6年度第58回旭川北高等学校同窓会が盛大に開催されますことに、心よりお祝い申し上げます。日頃より山本会長様はじめ旭川北高等学校同窓会の皆様には、平素より本校の発展のために物心両面から温かい御支援と御協力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。私は、第31代校長を拝命いたしました北村京一と申します。学校創立84年の歴史と伝統の重みを実感しつつ学校運営の重責を果たしてまいりましたので、御指導、御鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

さて、学校の近況ですが、今年度の生徒在籍数は5月末現在、全日制631名、定時制35名となっています。令和6年度の入学生も全日制が昨年度同様1間口減の5間口201名となり、次年度で5間口が完成します。また、定時制は12名の入学生を迎えることができました。

生徒の状況ですが、全日制では、今春卒業生の171名が現役で国公立大学に合格しました（現役国公立大合格率75%）。大阪大と東北大に1名ずつ広島大には2名、北大には12名の現役合格者をだし、

道内外の国公立大に積極的にチャレンジしてくれたと思っています。私立では明治や立教など多くの難関私立大学合格も果たしています。部活動も非常に活発で、全校生徒の90%以上が部活動に加入し、今年の高体連大会ではアーチェリー男女団体が全道優勝、地区大会を勝ち抜き全道大会へ駒を進めたのは、山岳部男女団体、バトミントン男子団体、硬式テニス、ソフトテニス、卓球、陸上、空手などの部活動、高文連では囲碁部が初の全道大会男子団体優勝全国大会に出場しています。また、校内には文化系部活動の展示があちこちにあり、美しい蜘蛛の巣の標本を展示している理科実験研究部は、令和2年度全国1位に輝きました。美術部も全道、全国大会に作品を出品しています。さらにはその生徒たちの中から東京芸大や多摩美術大学等に進学するものもいます。

昨年度定時制では、粘り強く最後まで努力を続けた就職希望者全員が内定をいただきました。部活動では、定時制通信制体育大会でバトミントン部が全道大会進出権を得ました。仕事、授業そして部活動の練習と厳しい環境ですが、

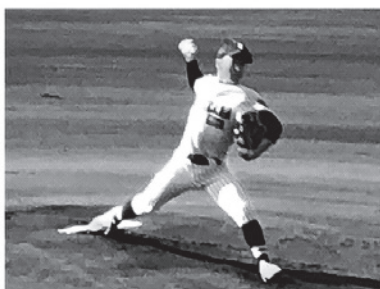
よく頑張っています。

我々教職員は生徒たちが興味あることに集中できる環境を作るため「すべては生徒のため」を motto に、日々の教育活動に邁進しております。これからも同窓会の皆様の期待に応えられるよう全力を尽くしてまいります。今後も皆様に生徒の活動を温かく見守っていただき、変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げます。

祝 全道大会出場！（18年ぶり 8度目）



令和5年度 秋季高校野球大会





令和5年度の会務報告

令和5年

8月11日(祝)	第57回旭川北高同窓会総会・懇親会
9月9日(土)	東京同窓会(会長・副会長・総務部長および校長の計4名出席)
10月6日(金)	札幌同窓会(会長・顧問・文化部長・総務部長の計4名出席)
11月11日(土)	当番期引き継ぎ会議(46期から47期へ)

令和6年

1月27日(土)	各期幹事長会議・新年会
2月15日(木)	北高18期 相内 啓司 様(京都精華大学名誉教授)より絵画寄贈
2月29日(木)	同窓会入会式(午前・全日制、夕方・定時制)役員出席
6月1日(土)	各期幹事長会議
7月13日(土)	役員・当番期実行委員会での打ち合わせ 会計監査
8月11日(祝)	第58回旭川北高同窓会総会・懇親会

令和5年度一般会計決算書【2023.7.1～2024.6.30】

収入の部

(単位:円)

区分	予算額	決算額	比較増減	摘要
1 繰越金	2,109,677	2,109,677	0	0
2 同窓会費	1,176,000	1,161,000	▲15,000	0
①入会金	690,000	681,000	▲9,000	227名×3,000円
②終身会費	486,000	480,000	▲6,000	240名×2,000円
3 ホームページ運営管理費	250,000	219,000	▲31,000	会券売上げ枚数×500円
4 雑収入	11	14	3	貯金利子
合計	3,535,688	3,489,691	▲45,997	

支出の部

(単位:円)

区分	予算額	決算額	比較増減	摘要
1 総務費	1,681,000	1,200,867	▲480,133	
①事務費	20,000	13,329	▲6,671	消耗品費
②会議費	200,000	73,562	▲126,438	役員会、幹事長会等開催費
③通信費	100,000	60,910	▲39,090	切手、はがき、電話
④印刷費	20,000	10,200	▲9,800	会議開催案内状等印刷費
⑤慶弔費	30,000	0	▲30,000	香典、生花、弔電
⑥支部活動費	740,000	596,000	▲144,000	支部活動費(東京2期、札幌3期)、支部同窓会出席費用
⑦広報費	240,000	158,400	▲81,600	同窓会ホームページ年間管理・運営費
⑧卒業記念品費	271,000	267,606	▲3,394	卒業生記念品(243名)、アルバム寄贈
⑨後援会事業費	30,000	0	▲30,000	学校祭協力費
⑩雑支出	30,000	20,860	▲9,140	振込手数料、雑費
2 文化費	330,000	330,500	500	ノースウインド作成費、文化部活動費
3 予備費	1,524,688	20,390	▲1,504,298	0
合計	3,535,688	1,551,757	▲1,983,931	

収支決算

(単位:円)

収入額	支出額	残高
3,489,691	1,551,757	1,937,934

残額1,937,934円は次年度へ繰越

令和5年度特別会計決算書

(単位:円)

収入の部		支出の部		残金
前年度繰越金	228,983	招待者関係費	334,000	次年度へ繰越 277,985
招待者ご祝儀等	383,000	第58回実行委員活動資金貸付	300,000	
第56回実行委員活動資金返還	300,000			
貯金利子	2			
合計	911,985	合計	634,000	

令和5年度同窓会資産決算書

(単位:円)

前年度繰越額	収入額	支出額	次年度繰越額	摘要
8,556,160	12	0	8,556,172	積立額(郵便貯金利子)

令和5年度同窓会記念事業基金決算書

(単位:円)

前年度繰越額	収入額	支出額	次年度繰越額	摘要
1,612,480	200,013	144,660	1,667,833	第57回実行委員会より寄付受(20万円)、財団法人旭川北高会へ寄付(10万円)、北高看板協賛名パネル費用(44,000円)、その他事務費用

北海道旭川北高等学校

同窓会規約

●第1章 総則

第1条 本会は、北海道旭川北高等学校同窓会と称する。

第2条 本会は、会員相互の親睦を図り、合わせて北海道旭川北高等学校の健全なる発展に寄与することをもって目的とする。

第3条 本会は、その事務局を北海道旭川市花咲町3丁目北海道旭川北高等学校に置く。

●第2章 事業

第4条 本会は、その目的達成のため、次の事業を行う。
(1) 会員の親睦を図ること。
(2) 会誌及び会員名簿の発行
(3) その他本会の目的を達成するために必要と認める事業

●第3章 会員

第5条 本会は、次の各号に該当する者をもって構成する。
(1) 旭川市立中学校卒業生
(2) 旭川市立高等学校卒業生
(3) 旭川北高等学校卒業生
(4) (1)(2)(3)各号以外（転・退学した者）で、本会に入会を希望する者。

●第4章 顧問

第6条 本会に顧問を置くことができる。顧問は、総会において推挙する。
第7条 顧問は、役員会の諮問に応ずるものとする。

●第5章 役員

第8条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
 - (2) 副会長 若干名
 - (3) 会計監査 3名
 - (4) 総務部長 1名
 - (5) 総務副部長 若干名
 - (6) 会計部長 1名
 - (7) 会計副部長 若干名
 - (8) 文化部長 1名
 - (9) 文化副部長 若干名
 - (10) 幹事長 各期毎1名
- 第9条 会長、副会長は、総会において会員の中から選出する。
- ただし、再選を妨げない。
- 2 会長は、本会を代表し、会務を統理する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときはこれを代理する。

第10条 第8条の役員のほか、各期各組から1名ずつ幹事を選出し、各期ごとに幹事長1名及び副幹事長2名を推薦し、会長はこれを委嘱する。ただし、定時制にあつては幹事長のみとすることができる。

2 幹事長は、同期を代表し、かつ統括する。

3 副幹事長は、幹事長を補佐し、幹事長に事故あるときはこれを代理する。
4 幹事は、各組の取りまとめにあたる。
第11条 会計監査は、総会において会員のなかから選出する。ただし、再選を妨げない。

2 会計監査は、本会の経理を監査する。
第12条 各役員任期は、2年とする。ただし、任期満了後でも後任者が決定するまでは、引き続きその任にあたるものとする。

第13条 総会は、定例総会及び臨時総会とし、議決は出席者の過半数をもってし、賛否同数のときは議長これを決す。

- 2 定例総会の開催時期は、前年度の定例総会において決定する。
 - 3 定例総会の運営は、各期毎の当番でこれにあたる。
 - 4 臨時総会は、会長が必要と認めたときに、役員会の決定をもって会長がこれを招集する。
- 第14条 総会は、次のことを審議する。
- (1) 会務の報告
 - (2) 決算の承認
 - (3) 規約の改正
 - (4) 役員を選出
 - (5) その他必要な事項

●第7章 役員会及び幹事長会

第15条 本会の役員会は、会長、副会長、総務部、文化部及び会計部の部長、副部長をもって構成し、会長がこれを招集する。

2 本会の幹事長会は、会長、副会長、総務部、文化部及び会計部の部長、副部長及び幹事長をもって構成し、会長がこれを招集する。

第16条 役員会の議決は、出席者の過半数をもってし、賛否同数のときは、議長がこれを決する。
第17条 会員は、役員会に出席して意見を述べることが出来る。
第18条 本会には、次の部会を置き会務を分担する。

- (1) 総務部
- ア 総会及び役員会に関すること。
- イ 規約の改廃に関すること。
- ウ 本会の渉外事務に関すること。
- エ 支部の結成及び支部との連絡調整に関すること。

オ その他庶務一般に関すること。

- (2) 会計部
- ア 本会の会計に関すること。
- (3) 文化部
- ア 会誌及び会員名簿の発行に関すること。
- イ 会員の親睦を図り、文化厚生活動に関すること。
- 2 部会には、部長1名、副部長若干名、委員若干名を置く。
- 3 前項の部長、副部長及び委員は、会長がこれを委嘱する。

●第8章 会計

第19条 本会の経費は、入会金二、〇〇〇円、終身会費三、〇〇〇円及び寄付金をもってあてる。

第20条 本会の会計年度は、毎年4月1日から始まり、翌年の3月31日をもって終わる。

●第9章 事務局

第21条 事務局は、若干名の事務員を置き、本会の事務を処理する。
2 事務局員は、会長がこれを委嘱する。

●第10章 規約の改正

第22条 本規約は、総会の承認がなければ改廃できない。
第19条 S 50 9 6 改正
第19条 S 53 9 2 改正
第19条 S 57 8 4 改正
第13条 2項 S 58 8 13 改正
第19条 S 63 8 7 改正
第19条 H 2 8 11 改正

第4条・第8条・第10条・第11条
第15条・第17条・第18条・第20条

第5条 4項 H 4 8 8 改正
H 7 8 12 改正
H 9 8 9 改正

●第6章 総会

東京



生きていく命が集う場所

東京同窓会会長

田嶋 美香 (北高27期)

この度、会長を拝命しました田嶋(旧姓 藤沢)美香です。よろしくお願い致します。

東京同窓会では二年に一度の総会・懇親会である「東京のつどい」を開催していますが、昨年は四年ぶりのつどいを開催することができました。イベント企画のために事前のアンケートとして、コロナや仕事あるいは家庭の事情などなかなかかふるさと旭川へ帰ることのできない同窓生に二項目の質問に答えていただきました。

・旭川へ帰つたら行きたい所

・旭川で買いたいお土産
アンケートの返信には、遠く離れていても旭川や母校を愛するメッセージが溢れていました。アンケートに添えられたメッセージを会場の皆様と共有しながら、遠い故郷に思いを馳せる貴重な時間となりました。

コロナ禍に翻弄された時期にはオンライン同窓会の開催が役員会で話題になったこともありまし

が、久しぶりにリアル開催をすることができ、ネット開催では味わえない喜びを感じることができました。目の前に人の温もりを感じながら語り合うことで生きていることのすばらしさを実感し、また次に会うことを期待しながら日々の生活に戻る。それがリアルな同窓会の魅力だと思います。

回を重ねるごとに「東京のつどい」に参加いただけの方の数が増えてきましたが、初めての参加の方の中には「東京でも同窓会をやっているとは知らなかった」「もっと早くから参加したかった」など嬉しいお言葉をいただいています。この同窓会誌の広告欄に「旭川北高東京同窓会」への連絡先を掲載してありますので、道外在住の同窓生で、まだ東京同窓会のことを知らない、と思われる方がいらつしやいましたら、ぜひご紹介ください。新しい出会いを東京同窓会の会員一同、お待ちしております。

札幌



旭川北高野球部頑張れ

札幌同窓会会長

山川 広行 (北高25期)

私の仕事場である札幌ドームで、昨年10月、高校野球秋季全道大会が初めて開催されました。全試合行われました。その大会に母校野球部が旭川代表として出場しました。野球部の先輩としましては、とてもうれしく、同期の皆に声をかけて応援にいきました。ドームに行くこと、同窓会の多くの先輩や後輩の皆さんが応援に来ていました。試合は残念ながら敗れてしまいました。スタンドの応援席は大いに盛り上がりました。我々同窓生にとっては、ビッグイベントです。皆で母校愛を確認し、絆を強くすることができるといい機会です。また今年の秋季全道大会にも出場して欲しいものです。その時は、昨年よりも大勢で応援します。

昨年より大勢で応援します。と、思っております。ですから、昨年の全道大会を経験した選手たちは、一冬を超えて、一段のレベルアップができています。夏の甲子園の予選が楽しみです。吉報を待っております。そして、その後の新チームでの秋季大会で、また札幌ドームにやって来るのも楽しみにしております。

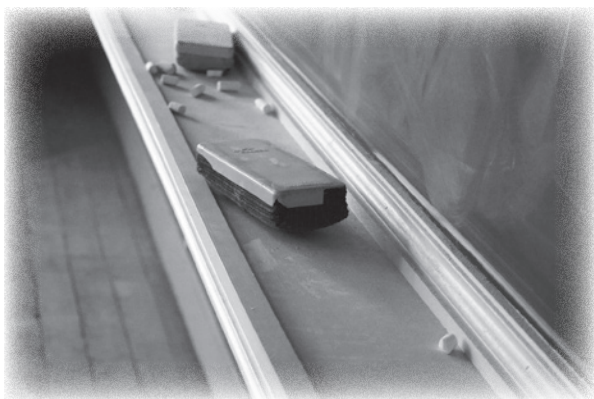
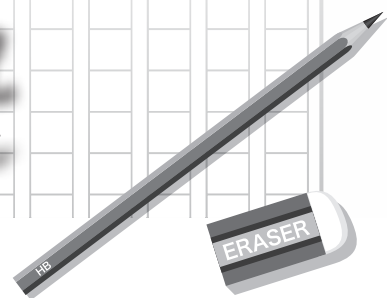
旭川での甲子園予選・秋季大会地区予選では、是非、旭川在住の同窓生の皆さんの応援で盛り上げて、絆を深めていただきたいと思っています。そして、札幌ドームに来た時は、札幌近郊在住の同窓生の皆さんの応援で、盛り上げ、絆を深めましょう。今年も期待して待っております。野球部先輩の独り言でした。

末筆になりましたが、旭川北高同窓会の益々のご発展と同窓生皆様のご多幸をご祈念申し上げます。

全道大会に出場した選手たちは、全道のレベルを肌で感じたと思います。旭川北高野球部は、選手たちが自ら考え、工夫して練習し実戦で成果を出す、そんな伝統があ

恩師の近況

news about a former teacher



特別なことのない老後を淡々と

三年二組担任 宗像 文夫

第四十七期生が同窓会の当番幹事をするとのことで、卒業生の担任だった私に近況を書いてくれと依頼がありました。平成九年の卒業なので、もう二十七年も前のこと。久し振りにアルバムを取り出して眺めていたら、当時の子供達の姿がおぼろげながらよみがえって来ました。その卒業生と同じだけの時間が私にも流れ、気が付けば後期高齢者の仲間入り。髪の毛も後退の一途を辿り、まぎれもない老翁になりましたが、北高で定年を迎えた後は、北高、旭川実業、旭川東定時制で時間講師を続け、今年旭川明成に勤務しています。悠々自適だったはずの定年後はどこへやら。ただ幸いだったのは、大きな病気もせず（コロナにはなりましたが）、友人との川釣りやバイクのツーリングを楽しみ、退屈することのない日々を過ごしていることです。





旭川北高校を定年退職し、ただ今、旭川実業高校特別進学コース担任の二回り目をしています。普通であれば、公立高校の再雇用は担任を持たず、一歩引いて教科と部活動に専念するところですが、幸いなことに、いまだに生徒たちの最前線にいたることが出来ています。以前から、北高校を退職された先生方も結構いて、今年から広瀬先生も仲間入りしてくれたので、何か感覚的に北高校の職員室にいるような錯覚に陥ったりしています。

先日、PTAの集まりがあった際も、「川端先生ですよね。私、先生の学年で、広瀬先生、宮前先生、佐々木洋子先生に担任して頂きました。」と、この学年の生徒がお母さんとして、久しぶりに対

まだまだ現役、70歳まで

三年三組担任 川端 一正

面することが出来ました。40年以上も教員をしていれば少なからずこういうこともあるかもしれませんが、この年齢で元気に働くことができています。本当に嬉しい限りです。

さて、同窓生の皆さんは元気に過ごしていますか。会社や家庭でも、ますます責任が増えて大変だと思いますが、自分だけで抱え込まず、パートナーと笑顔で話し、上手く息抜きしながら頑張ってください。先生も、目標70歳まで教壇に立ち続けます。





お久しぶり。

三年四組担任 宮前 貴英

謹んで近況報告をさせていただきます。

現在、旭川永嶺高等学校にて勤務しています。

北高で47期生を送り出した直後から、浜頓別↓幌加内↓旭川西↓現任教(5校目)の順に移りました。北高ではいわゆる「新卒」で初めての担任を持たせていただいたので、みなさんの卒業時は若干27歳の若輩者でしたが、あれから27年の時を経て、ちょうど2倍の年齢になっています。30歳で結婚して3人の子ども(現在大学生2人と高校生1人)がいます。

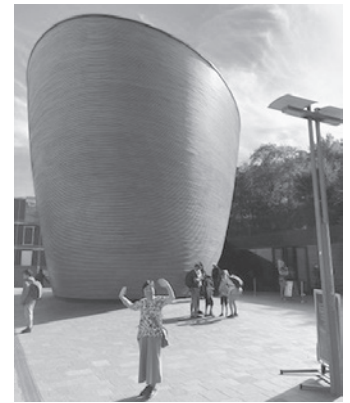
旭川は教員になるまでは縁もゆかりもない未知の場所でした(新任の時に北高の場所がわからずに通り過ぎた記憶は今でも覚えています)が、その後は教員生活の大半(浜頓別以外)をここで過ごさ

せてもらい(自宅も建ちました)、気がつけば旭川での生活が最も長くなりました。

そしてここ数年は、当時のみなさんの世代とは、保護者と教師(時に担任)との関係で関わり合うことが多くなってきました(悪いことはできないね!?)。自分も含めてあの頃とは時代も変わり、難しいことも多々ありますが、何とかやっております。

どこかで会うことがこれからもあろうかと思えます。その節はお手柔らかによろしく願います(謹)。





札幌に転居して6年目に入りました。マンション暮らしは雪かきの心配もないし札幌は文化施設もスポーツの施設も充実しているのでもそれらを楽しみながらアーバンライフを満喫したいと考えていましたが、残念ながら2年が過ぎたころコロナ禍が始まりました。世の中うまくはいかないものです。どこにも出かけられず、知人とも会えない日々が続きました。ただただ怯えて暮らした3年間のように思います。

それでも近くに住む8歳と5歳と5歳（双子です）の3人の孫たちの世話をしながら忙しくも充実した日常を過ごしていました。いや、います。お陰で最近のアニメや歌など年寄りの一人暮らしでは知り得ない知識が身につきました。新しいことを知る刺激は脳を活性化

近況といえは近況かな？

三年六組担任 渥海 道子

化してくれるかな？時々ポケッタモンスタアのイラストを前に「このポケモンの名前は？」などとテストを受けさせられたりしています。これが、さっぱり正解しません。

コロナ禍が一段落した昨年の夏にはフィンランドに旅行に行きました。秋にはUSJに行きました。マリオカートが一番楽しかったです。

去年、はしゃいであちこち出かけたので、今年は今のところ大人しく暮らしていますが、行きたい時に行きたい所に行けるありがたさを身をもって実践したいと考えている今日この頃です。そのためには健康第一で。

中身の無い文章になりましたが、これが私の近況です。





「感謝」

三年七組担任 廣瀬 純

お久しぶりです。3年ぶりにまた同窓会誌の原稿を書いています。社会はコロナ禍から徐々に以前の生活を取り戻していますが、今なお感染症の脅威はなくなっておりません。私もこの1月に感染して辛い経験をしました。周りにはまだ後遺症から回復されていない方がいます。その方たちの全快を願ってやみません。

今年の3月で公立高校（北見仁頃↓旭川北↓東川↓旭川東↓東川）を退職して、現在は実業高校でまた担任をしながら数学の授業を受け持っています。土日はサッカー部のスタッフに入れてもらいながらサッカーに携わっています。

また、3月には東川まで退職の激励にきていただき本当にありがとうございました。色紙や写真をくれた多くの卒業生の皆さんへこ

の場を借りて感謝いたします。また、30年たっても私の暴言の数々を覚えていた方へ、改めてお詫びいたします。近頃は社会の風潮も大きく変化して発言にはかなり気を付けるようになりました。

昨日は、31年前に留萌沖で不慮の事故により亡くなられた宮原篤史さん（45期と同学年）のご命日のため久しぶりにお宅へ伺うことができ、ご両親とともに故人を偲ぶことができました。

身体と頭が動くうちは、まだこの仕事を続けていきたいと考えていますので、よろしく願いいたします。





北高は我が母校

三年八組担任 白鳥 宏之

す。私にとって北高はそんなかけがえない学校です。
 末筆になりますが、同窓生の皆さまのご健康と益々のご活躍、これからも弛まない北高の発展を心よりお祈りしております。

みなさん、お元気ですか？ 北高を離れて現勤務校の函館中部高校に来て、もう二十年目になります。本当にあつという間です。きつとみなさんも立派になられているのでしょね。私は北高時代と変わらず、毎日生徒たちとバタバタ忙しく毎日を過ごしています。
 十年ひと昔と言われ、二十年も前のことと言えば多くのことは忘れてしまつていそうですが、私が北高で過ごした十二年間は今でも自分の中で宝物のようにキラキラしています。英語科の担任を二週り、普通科の担任を一回、担当していた海外研修では生徒の皆さんと三度米国カリフォルニアへ。顧問をしていたKHK（放送局）では大会や取材で全国を走り回っていた気がします。北高祭・前夜祭でのヨサコイやキャンプファイヤ

ーを囲んでのフォークダンス、本祭での合唱や演劇や展示…あんなに盛り上がる学校祭はその後の教員生活でも目にしていません。北高でのどの思い出をとつても昨日のこのように蘇ってきます。誰もが自分の可能性と仲間を信じて前向きに進んでいたイメージがあります。嬉しいときも、落ち込んだ時でもなぜか帰りたくなる学び舎ですよ。私も本当に素晴らしい生徒と職員のみなさん、そして多くのチャンスに恵まれていたと思います。
 来春、私は北海道の教員を定年して、新たな職場で仕事に就くことになりそうですが、北高で過ごした十二年間は私の中で心のよりどりどころになっています。私は北高の卒業生ではありませんが、北高は自分の母校だと思つていま





四十七期生の皆さん、こんにちは。平成六年、三十歳で北高着任と同時にこの学年の担任になりました。その後平成十九年に室蘭清水丘高校に転動しましたが、平成二十七年に戻り、また北高勤務を続けています。昨年でたく？還暦を迎えましたが、定年延長になりました。来春退職の予定です。

北高の事情を分らず即担任になったこともあり、当時のことは思い出すのも「恥ずかしい限り」(苦笑)です。それでもあの頃は「若手」だったので、球技大会では全種目に出場して翌日階段を上れないほどの「全身筋肉痛」に見舞われたり、北高祭の準備で、展示の作業をしていたら生徒と間違えられて、先生方から「四十人目の生徒」と呼ばれたりしたことを、今も懐かしく思い出します。

近況報告

三年九組担任 鈴木 隆行

今春、北高五回目の卒業生を出しました。「同窓会に出席したら、もはや介護になってしまう」と言ったら驚かれ、受けて？しまいましたが、最近健康診断で、追試

の常連になっています。今は「健康のために何かを始めたい」と思いつつ、行動に移せない毎日をごしています。



招待期



第58回旭川北高同窓会の開催を心からお祝い申し上げます。

コロナ禍も落着き昨年再開された旭川北高同窓会ですが今年にはコロナ対策も緩和されやっとなりコロナ禍前の日常を取り戻したと実感しています。

コロナ禍中は北高教職員、学生、同窓会運営関係者皆様のご苦労は計り知れないものであったと推察いたします。

私達北高25期は旭川では尾崎信彦元会長を同期がサポートし長く同窓会活動をとめてまいりました。札幌でも野球部OB山川広行札幌同窓会会長を中心に同期が同窓会活動に携わっています。

札幌では野球部同期生が幹事になりコロナ禍前まで毎年同期会を行ってまいりました。野球部は結束が強く彼らが中心となり先生、同期生に声掛けし道外

卒業50年。同期の絆

平田 靖史

の同期も参加しやすいように毎年10月に南幌温泉で開催していました。

私は陸上部でしたが道外勤務から戻った時に声を掛けられて以降参加しています。

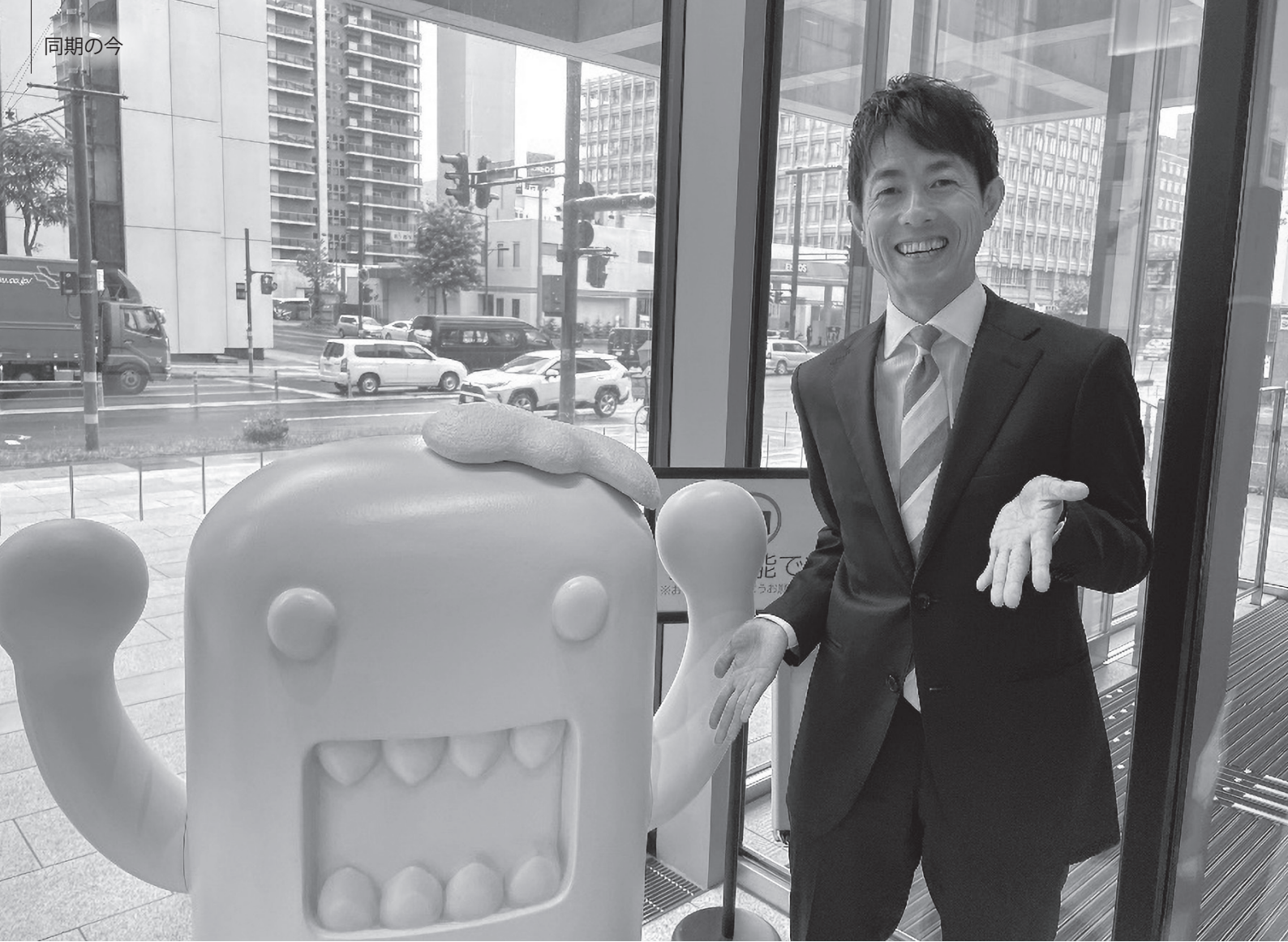
昨年コロナ禍で中止になっていた同期会が3年ぶりに開催されました。

道内外から40人ほどが久々に旧交を温めました。残念ながら幹事の彼は故人となりました。後継も継承されることと思っています。

私達北高25期は昭和50年3月卒業です。50年の月日で木造の古い校舎も教室から眺めた

市営球場も新しくなりました。昔を懐かしみながら招待期の同窓会に参加させていただきました。最後にりましたが同窓会へのご招待誠にありがとうございました。





NHK札幌放送局 アナウンサー

赤松 俊理

思い出される10代の貴重な時間

NHK旭川局に勤務していた2004年に、北高が44年ぶりに甲子園に出場！甲子園球場で同級生たちと再会したことを今回、思い出しました。当時は高校野球の実況も少しやっていた、スタルヒン球場に行く度に北高時代を懐かしんでいました。

今でこそカメラの前でニュースをお伝えしていますが、高校時代、何になりたいかなど、全く考えていなかったと記憶しています。長時間の汽車通学に追われ、吹奏楽部に飛び込んで先輩や同期に迷惑をかけ、3年生になる際に「勉強に打ち込む！」と宣言して退部。その後、友人たちとダラダラと過ごし、見事に浪人しました。それでも放課後に買物公園の喫茶店や金星橋近くの堤防で過ごした時間、10代でしか感じられない青臭い自由とよく分からない焦燥や渴望の経験は、様々な事象を受け止め言葉を発する今の仕事で少なからず役に立っていると感じています。

世間知らずだった自分が北高の3年間で多様な価値観に触れ、視野が広がりました。そして多くの友人にも恵まれたことに改めて感謝です。今思い返しても、間違いなく人生の分岐点の一つとなった大切な10代の時間でした。

【国立大学合格者数】(現役+過年度)

大学名	R1	R2	R3	R4	R5
北海道大	12	9	13	14	13
北海道教育大	28	35	22	30	44
室蘭工業大	4	4	6	8	9
北見工業大	4	2	2	2	5
小樽商科大	8	8	12	14	11
帯広畜産大	2	1	1		1
旭川医科大	7	10	8	11	10
弘前大	11	9	6	9	8
岩手大	4	4	3	2	1
東北大			1	1	1
秋田大	1	1		1	3
山形大					1
茨城大	2		4	5	1
筑波大		1	1	1	
宇都宮大					
埼玉大	1	2	3	4	3
千葉大	2		1	2	
郡馬大	1				
東京外語大					
東京農工大	1	1			
横浜国立大	1	1		1	
新潟大	4	7	9	7	3
富山大	1	2	1	1	
岐阜大					
金沢大	4	3	1	3	4
信州大	1		2	1	
静岡大	4	2	1	6	5
名古屋大				1	
京大					
大阪大	1		2	1	1
神戸大		1	1	3	
広島大			2	1	
長崎大		1			
琉球大			1		
旭川市立大	6	17	10	11	6
札幌医科大	2	7	4	3	4
札幌市立大	2	1	2	4	2
公立はこだて未来大	2	2		2	
釧路公立大	4	11	6	4	6
名寄市立大	8	6	6	6	7
千歳科学技術大(R1~)	3	4	5	4	3
高崎経済大	4		2	6	2
神奈川県立保健福祉大		1	2		
東京都立大	1	1	2	1	1
横浜市立大			2	2	1
都留文科大	2	3	1	2	3
新潟県立大					
愛知県立大		1			
その他	3	12	16	27	16
国公立大計	134	135	149	190	175

*旭医大医学科 H23(1),H24(3),H26(2),H27(1),H28(2),H29(1),H30(1),R3(1),R4(1)
 札幌医大医学科 H27(1),H28(1),R1(1)

【私立大学合格者数】(現役+過年度)

大学名	R1	R2	R3	R4	R5
藤女子大	11	6	6	7	3
北星学園大	28	27	14	11	14
北海学園大	36	37	29	46	33
天使大	3	5	2	2	6
北海道科学大	36	11	21	26	42
酪農学園大	10	10	10	4	5
北海道医療大	19	15	21	32	29
日赤北海道看護大	6	3	4	4	5
北海道文教大	8	4	1	8	7
獨協大	6	3	5		
青山学院大	3	2	1	2	4
学習院大	2	1	1		
慶應義塾大	1			1	
東京女子大					1
駒澤大	2		1	5	
上智大	1		2	1	
専修大	1	1	1	1	1
創価大	1			1	1
中央大	5	3	5	7	7
津田塾大	1			2	3
東海大	2	4	4	5	5
東京農業大			2	3	1
東京理科大			1	1	
東洋大	4	4	2	8	3
日本大	7	4	3	8	6
法政大	11	4	5	14	6
明治大	4	3	4	7	3
明治学院大	1		4	1	3
立教大	4	2	2	3	3
早稲田大	1	1		1	
神奈川大	1		2	2	1
京外大			3		
同志社大	2	1	1	8	2
立命館大	4	2		6	5
関西大	1			1	
近畿大	4		3	1	
関西学院大	2	1	1	2	
その他	104	99	87	80	76
私立大合計	332	253	248	311	275

【公務員・民間就職 合格者数】(現役)

種類	R1	R2	R3	R4	R5
国家公務員	3	2	2		4
道職	2	2	2		
市町村職員	3	2	1		1
他の公務員	2	4	1		1
民間就職			2		

進路指導部(全日制)

都筑 宏海

本校は単位制導入以来、進学先をどんどん広げ、近年では道内はもちろん、約半数が北海道を離れ、関東圏にとどまらず、九州、沖縄まで進学しています。それは高校在学中に自分がどの分野に興味関心があるのかをしっかりと考え、自分が学びたいことを学べる場所を求めた結果と言えます。

単位制の進路指導では、一年次より、将来を見据えて、大学で何を学びたいのかを具体的に考えさせることから始まります。また、道内外の大学による説明会や出張講義などの実施、またオープンキャンパス等への積極的な参加の奨励などが特徴としてあげられます。また、若手の同窓生が中心となり、自分の職業について生徒に語る「先輩図鑑」という企画も昨年度で十七回を数え、参加した後輩達に大変好評です。このように早期より本物に触れさせることによって、自分が将来、どのような職業を目指

し、そのためにどの大学を目指すのかという目標を、できるだけ明確に持てるように進めています。

近年は「入れる大学」から「入りたい大学」を選びをする者が増えてきました。昨年度は大阪大、東北大、北大などの難関国立大学や、明治大、青山大、立教大、同志社大などの難関私立大学に現役で合格しました。北大は十三名で、その内の一人は医学部医学科合格、北高では二十数年ぶりと聞いております。

今春入試は「大学入学共通テスト」4年目の入試でした。より思考力、判断力、読解力、速読力が問われる出題となりました。北高の生徒は苦手教科、科目にも最後まで粘り強く取り組むことで、全教科にわた

り手を抜かず仕上げるのができたため、今春入試の結果につながったと考えています。真面目に最後まで粘り強く取り組めることは、北高生の強さだと改めて感じました。高体連を終えてから受験勉強へと素早く切り替え、自習教室である数学教室はいつも生徒たちでいっぱいでした。国立公立大学に170名の現役合格、そして前述した難関大学への合格となったのも、こういう努力や頑張りがあったからこそです。特筆すべきは、この多くが部活動に加入していた生徒で、脈々と引き継がれる北高の伝統・文化「文武両道」を継承してくれました。

現3年生から新課程が始まり、総合的な探究の時間など、教育活動は時代や社会の変化に合わせて、大きく変わってきています。教育活動に携わる中で、私たちができないことが多いと実感します。先述した先輩図

鑑に加え、今のこどもたちには教員以外の「大人」「社会」との関わりが不可欠です。探究活動や先輩図鑑では積極的に外部の方で講師をお願いしております。同窓生の方で協力していただける方がいましたら、ぜひよろしく願います。

令和5年度 進路別人数 卒業生の進路

区分	R5	R4			
卒業生数	227	237			
進学希望者数	225	237			
進学者数	211	223			
進学先内訳	大学	国公立	道内 105 道外 45	90 65	
		私立	道内 26 道外 23	24 35	
	短大	国公立	道内 0 道外 0	0 0	
		私立	道内 0 道外 0	2 0	
	大学校等	大	道内 1 道外 1	1 1	
		専門学校	看護	道内 5 道外 0	3 0
			その他	道内 3 道外 0	2 1
	就職	公務員	2	0	
		民間	0	0	
	自営:家事手伝	0	1		
その他(未定を含む)	19	13			

国立大学現役合格者数及び1クラスあたりの平均合格者数

卒業年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
学級数	6	6	6	7	6	6	6	6
合格者数	107	113	119	126	143	137	176	170
人/クラス	17.8	18.8	19.8	18.0	23.8	22.8	29.3	28.3

難関国立大、医学科合格者数(現役)

大学名	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
北大(文系)		1	2	3	1	5	5	2
北大(医理系)	5	6	3	8	7	5	8	9
札幌医大(医)	1			1				
旭医大(医)	2		1			1	1	
東北大	1	1	1			1	1	1
筑波大		1				1	1	
東京工業大								
名古屋大			1				1	
京大			1					
大阪大	1			1		1	1	1
神戸大	1				1	1	3	
九州大							1	
計	11	10	8	13	9	15	22	13

2023-2024 部活動報告

令和5年度より6年3月までの成績(大会の結果等)を中心とした部活動の紹介と近況報告



●野球部

今年度の野球部は3年生10名、2年生12名、1年生10名、マネージャー4名の合計36名で活動しています。

昨年の夏季大会は、支部の決勝戦で夏季大会3年連続の旭川明成高校と対戦しました。この大会に向けて、投手を中心に粘り強く失点を抑え、少ないチャンスをチーム一丸で得点にする野球を掲げ臨みましたが、1-2の接戦で敗れてしまいました。自分たちの目指すロースコアの展開ではありませんでしたが、目標の全道大会出場をあと一歩達成することはできませんでした。

新チームとして臨んだ秋季大会では、初戦の富良野高校10-0、2回戦留萌高校15-8、決勝戦の旭川東高校10-0と全てをコールド勝ちで制し、18年ぶりの全道大会出場を勝ち取りました。大会を通して投打が噛み合い、自分たちらしい試合運びができました。

札幌ドームで行われた全道大会では2回戦で札幌国際情報高校と対戦し、2-7で敗れました。攻撃、守備、野球に向き合う姿勢、全てが全道大会レベルに届いていないことを痛感しました。

全道大会の敗戦を受けてチームの底上げを図った冬季練習では、ボール回しやゴロ捕球、ノックなどの守備練習で、1つ1つのプレーの精度を上げること、強豪校の好

投手の速球に対応すること、そして基礎体力アップを目標に取り組んできました。1つのエラーや打ち損じが敗戦に直結することを重く胸に刻んで、意識高く練習に取り組んできました。

5月に行われる春季大会では、成長した自分たちの力を信じて、夏の大会につながる結果をだし、全道大会へと駒を進めたいと思います。

同窓生であります野球部OB会やOB父母の会、また父母会をはじめ多くの方々に日頃より自分たち野球部の活動を支えていただいております。感謝の気持ちを常に持ち、全力プレーで答えたいと思います。今後も北高野球部の伝統を引き継ぎ日々精進していきますので応援よろしくお願ひいたします。

●ソフトテニス部

令和5年は、3年次生7名、2年次生3名、1年次生7名の計17名で活動をスタートしました。高体連では、個人戦ダブルスで全道大会に進出しましたが、残念ながらチームの目標に掲げていた「団体戦全道大会に出場」を達成することはできませんでしたが、全道大会での対戦相手には力及ばず、なかなか勝利をあげることができませんでした。最後まで真剣にソフトテニスに向き合うことができました。その後、1年次生2年次生合わせて10人の部員で力を合わせ、コーチの指導のもと技術を磨き、新人戦地区予選において個人戦ダブルスとシングルスで、そして団体選抜地区予選で念願の全道大会出場権を獲得し、高体連での悔しい思いを払拭することができました。さらに、団体選抜全道大会では、ベスト8という輝か

しい結果を残すことができ、自分たちのやってきたことが間違っていないという自信につながりました。まだまだ自分たちの思い描いている結果を残すことができていない悔しさがありますが、日々のトレーニングの成果を發揮することができているので、試合を経験することによって内容がよくなっています。

最後に、日々私たちを見守り、支えてくださる保護者と先生方、何より忙しい中私たちのために時間を割き、ソフトテニスと真剣に向き合い、楽しむことの大切さを教えてくださるコーチに感謝しています。どうもありがとうございました。そして、これからも全力でソフトテニスに取り組みしていきますので、応援をお願いします。なお、令和5年度の主な結果は、次のとおりです。

【2023年度】
 ◆第52回ゴーセン杯争奪ハイスクールジャパンカップソフトテニス2023北北海道
 ・ダブルス
 戸屋彩愛・黒谷萌衣ペア 1回戦目敗退
 シングルス
 黒谷萌衣 2回戦目進出
 ◆第76回北海道高等学校ソフトテニス選手権大会旭川支部予選会
 ・女子団体
 決勝トーナメント1回戦目敗退
 (予選リーグ第1位)
 ・女子個人戦
 戸屋彩愛・黒谷萌衣ペア ベスト16
 伊藤菜桜・松田愛果ペア ベスト16
 (代表決定戦勝利 全道大会進出)
 ◆令和5年度第76回北海道高等学校ソフトテニス選手権大会兼第73回全国高等学校

ソフトテニス選手権大会北海道予選会
 ・女子個人戦
 伊藤菜桜・松田愛果ペア 2回戦進出
 ◆第78回国体ソフトテニス旭川地区予選大会
 ・女子ダブルス
 伊藤菜桜・今井心柚ペア ベスト8
 (北海道予選会出場)
 佐藤まお・倉内瑛美ペア ベスト16
 佐藤 奏・尾崎佑多ペア ベスト16
 ◆特別国民体育大会ソフトテニス競技北海道ブロック予選会兼北海道体育大会(少年の部・ダブルス)
 ・女子ダブルス
 伊藤菜桜・今井心柚ペア
 1次予選トーナメント2回戦目進出
 ◆第53回北海道高校新人ソフトテニス選手権大会旭川地区予選会
 ・ダブルス
 伊藤菜桜・今井心柚ペア ベスト8
 (全道大会進出)
 佐藤まお・倉内瑛美ペア ベスト8
 (全道大会進出)
 佐藤 奏・尾崎佑多ペア ベスト16
 シングルス
 伊藤菜桜 ベスト16
 (代表決定戦勝利(全道大会進出))
 ◆第53回北海道高校新人ソフトテニス選手権大会
 ・ダブルス
 伊藤菜桜・今井心柚ペア 2回戦進出
 佐藤まお・倉内瑛美ペア 3回戦進出
 シングルス
 伊藤菜桜 2回戦進出
 ◆第48回全日本高等学校団体選抜ソフトテニス大会旭川支部予選会
 予選リーグ 第1位
 決勝リーグ 第3位 全道大会出場
 ◆第60回北海道高等学校インドアソフトテニス大会旭川地区予選会
 ・ダブルス
 伊藤菜桜・今井心柚ペア ベスト16
 (代表決定戦勝利(全道大会進出))



佐藤まお・倉内瑛未ペア ベスト16
代表決定戦勝利(全道大会進出)
佐藤 奏・尾崎佑多ペア ベスト16

◆第49回全日本高等学校団体選抜ソフトテニス大会北海道予選会
団体戦ベスト8

◆第60回北海道高等学校インドアソフトテニス選手権大会
ダブルス

伊藤茉桜・今井心柚ペア 3回戦目進出
(ハイスクールジャパンカップ北海道大会出場権獲得)

佐藤まお・倉内瑛未ペア 2回戦目進出
(ハイスクールジャパンカップ北海道大会出場権獲得)

●男子硬式テニス部

令和6年度のテニス部男子は3年3名、2年3名に新たに1年12名が加わり活気が増しました。昨年度秋季新人大会では、個人戦シングルスで加藤大登が準優勝をしました。今年度5月の高体連の支部大会では、当番校ということもあり準備も大変でしたが、各学年積極的に業務をこなし滞りなく日程を消化できました。団体戦では残念ながら1-1-2で旭川南高校に敗れ全道大会に進出することはできませんでしたが、個人戦シングルスで加藤大登が3位、個人戦ダブルスでは加藤・津山組と同じく3位で全道進出を決めました。みんなの分も釧路の全道大会で頑張ってくれと思います。その他の大会では、5月下旬の北海道ジュニアテニス選手権大会道北ブロック予選で、加藤大登が18歳以下シングルスでブロック優勝、18歳以下ダブルスで優勝をして全道大会に進出しました。他にも飛田悠聖がダブルスでベスト8、16歳以下でも今回は1年生が健闘し加藤颯がシングルスでブロック準優勝(優勝で全道大会進出)、加藤颯・高畑組がベスト4に入り今後の躍進が期待されます。新体制では1年生で軟式テニス経験者が多く、校内のレギュラー争いも熾烈になることが予想されます。各校に戦力

が分散しているので、今後の練習で団体戦でも戦える力をつけていきたいと思えます。

●女子硬式テニス部

【令和5年度 活動報告】

昨年度の主な大会成績は以下の通りです。

○高体連春季大会 団体戦 3位
個人戦シングルス 筒井ののか 優勝
手塚美結 3位

○個人戦ダブルス
手塚・野田(樹) 優勝
筒井・野村 3位

○高体連支部大会
団体戦 3位
個人戦シングルス 手塚美結 準優勝
筒井ののか 3位

○個人戦ダブルス
手塚・野田(樹) 3位
筒井・野村 5位

○高体連全道大会(苦小牧)
個人戦シングルス 手塚美結 1回戦
筒井ののか 1回戦

○個人戦ダブルス
手塚・野田(樹) 2回戦
筒井・野村 1回戦

○高体連秋季大会
個人戦ダブルス 北川・濱田 ベスト8

【令和6年度 活動状況】

今年度の女子テニス部は3年生7名、2年生4名、さらに1年生6名を加えての計17名で活動をスタートしました。5月13日から行われた高体連支部大会の当番校を務めるにあたり、新入生が6名も入部してくれたことは大会を運営する上で非常にありがたいものでした。1年生が主に大会本部の補助業務(受付・放送・記録など)を担当し、3年生、2年生は試合と応援に専念することができました。その結果、個人戦ダブルスの全道大会出場権を賭けた代表決定戦で、北川・濱田ペアがあと一步というところで迫ることができました。残念ながら団体戦・個人戦ともに全道大会への出場は叶いませんでしたが、3年生を中心に

よく健闘したと思います。

現在は3年生が引退し、新チームとなってまだ間もないところですが、5月に行われた北海道ジュニアテニス選手権道北ブロック予選では、2年生を中心に徐々に勝ち進むようになり、着実に成長を遂げつつあります。また、高校からテニスを始めた新1年生も待望の大会デビューを果たしました。今後は6月の国民スポーツ大会道北予選、8月上旬の高体連夏季大会を経て、8月下旬の高体連秋季大会で勝ち進み、秋季全道大会への出場を果たせるように、選手がモチベーションを高く保って練習に取り組むことができる環境作りに努めていきます。今後とも応援よろしくお願いいたします。

●男子バレーボール部

昨年度男子バレーボール部は1年生11名(現2年生)を迎え新体制をスタートしました。高体連期間の練習は熱を帯び勝利し食欲な選手ばかりでチーム内の雰囲気もすごく高まっていました。迎えた高体連では思うような結果が残せず多くの選手が悔しさを感じていました。その悔しさを糧に始まった新チームは順風満帆なものではありませんでした。思うように練習ができな練習試合や公式戦で勝てないなどうまくいかず苦しむ期間が続きました。

それでも試行錯誤して練習に取り組んできた粘り強さが今のチームの強みになっていると感じています。そして迎えた今年度。新顧問の手塚先生と頼もしい1年生9名を加え現在も熱心に練習に励



んでいます。制作時(5月12日)は高体連旭川支部予選の抽選会前日で非常にドキドキしています。手塚先生が少しでも自分達に有利になる所を引いてくれることを願っています。そして3年生にとって最後となる高体連が悔いの残らない大会となる事を願っています。

最後に少しでも上達するようにと熱心に指導してくださっている顧問の先生、常日頃から選手のことを支えていただいている保護者の皆様、そして自分達のバレーボール活動に関わってくださっている全ての皆様、本当にありがとうございます。今後皆様への感謝を忘れず、選手一同バレーボールを楽しみ練習に励んでいきます。応援よろしく申し上げます。

◆第19回旭川支部バレーボール春季大会
(令和5年4月22日~23日)

1回戦 旭川北2-1 旭川東 勝利
2回戦 旭川北0-2 旭川工業 負け
3位決定戦 旭川北0-2 富良野 負け
第4位

◆北海道高等学校総合体育大会バレーボール競技大会 旭川支部予選会(令和5年5月23日~25日)

予選R 旭川北1-2 旭川東 負け
旭川北2-0 旭川工業 勝利
決勝T 旭川北2-0 旭川西 勝利

旭川北0-2 旭川実業 負け

◆全日本バレーボール高等学校選手権大会
北海道予選旭川地区競技会

1回戦 旭川北0-2 旭川明成
◆第19回北海道高等学校バレーボール新人大会旭川地区予選会

1回戦 旭川北0-2 旭川工業 負け

●女子バレーボール部

旭川北高校女子バレーボール部は、選手22名・マネージャー3名で活動しています。「仲間と時間を大切に」という意識を土台に、限られた練習時間の中でどれだけ自分らの最大限を膨らませることができ

か：ということをやチームに毎日活動しています。多くの練習試合や合宿に参加させていただき、チーム力がなかなか伸びない苦しい時期もありましたが、全道各地区の強豪校と切磋琢磨していくなかで、最大限成長してきました。合宿等で互いに刺激し合った全道のチームの存在は、私たちにも力を与えてくれました。また多くの方々にアドバイスやコーチをいただき、感謝の気持ちも私たちのエネルギーとなっています。旭川北高卒業生のみなさんが、OB・OGであること誇りに思えるような活動・試合を展開します。ぜひ試合を見に来てください。これからも応援よろしくお願いします。



◆旭川支部バレーボール支部春季大会
(令和5年4月22日・23日)

旭川北 2 (26 | 24) 0 留萌
25 | 10

旭川北 0 (17 | 25) 2 旭川明成
18 | 25

◆北海道高等学校総合体育大会バレーボール競技大会旭川支部予選会
(令和5年5月23日・25日)

旭川北 2 (25 | 16) 旭川西
25 | 18 0

・決勝トーナメント 第1試合

旭川北 0 (10 | 25) 旭川龍谷
15 | 25 2

◆旭川協会長杯争奪高校バレーボール大会

※猛暑のため中止

◆全日本バレーボール高等学校選手権大会

北海道予選会旭川地区競技会
(令和5年9月23日・24日)

旭川北 0 (20 | 25) 2 旭川永嶺
10 | 25

◆旭川支部バレーボール冬季大会
(令和5年12月2日・3日)

旭川北 2 (25 | 22) 旭川西
25 | 19 1

・1回戦

旭川北 0 (5 | 25) 旭川龍谷
7 | 25 2

◆北海道高等学校バレーボール新人大会旭川地区予選会
(令和6年1月13日・14日)

・1回戦

旭川北 1 (17 | 25) 旭川東
19 | 25 2
25 | 23

●サッカー部

令和6年度のサッカー部は顧問の安藤先生、木下先生とともに3年生15人、2年生13人、1年生9人、マネージャー5人の計42人で活動しています。

令和5年度の地区高体連でサッカー部は創部初となる優勝を果たしました。実業が不参加(プレミアシードで全道大会から参加)でしたが、一昨年の30年ぶりの選手権全道大会出場に続き、二期連続で全道大会に出場することができました。全道大会では酪農学園大学附属とわの森三愛高校と対戦し敗退しましたが、ベスト4に進出した強豪相手に一歩も引かず戦うことができました。

その後選手権で東に初戦で敗れるなど苦しい時期もありましたが、リーグ戦では過去最高勝ち点を獲得し、ブレイクオフ(リーグ戦の全道大会)に進出しました。3年生主体の私立高校が参加する大会に1・2年だけで臨み12チーム中11位という結果に終

わりましたが、最終戦では伝統校の函大有斗高校と対戦し、54年ぶりに全道大会で勝利することができました。

今年度も北高は道北ブロックリーグ1部に所属しています。私たちがこのステージで戦えるのは先輩達のおかげです。私たちも1部残留とカップ戦での全道大会出場を目指し、後輩達にたすきを繋ぎたいと思います。卒業生の皆さんに明るいニュースを届けられるよう頑張りますので、今後とも応援よろしくお願いします。



【令和5年度】

◆高体連旭川地区予選

2回戦 東 2-1-1
決勝 志峯(旧 旭大) 2-1-1
(創部以来初の優勝で全道大会進出2年ぶり8回目)

◆高体連北海道予選

2回戦 酪農学園大学附属とわの森三愛 1-1-2
◆選手権旭川地区予選

2回戦 東 0-1-4

◆道北ブロックリーグ1部(全14節)

7勝5分2敗 3位
(8チーム中)でプリンスリーグプレーオフ進出

◆北海道プリンスリーグブレイクオフ

帯広緑陽 1-1-3
帯広大谷 0-1-5
函大有斗 1-1-0

◆12チーム中11位
高校フットサル予選

留萌 3-1-2

明成 3-1-2

工業 5-1-0

1位通過

1回戦

龍谷 2-1-5

●卓球部

卓球部は、男子16名、女子13名の計29名で活動しています。新体制になり、先輩方から学んできたことを今後も引き継いでいけるよう日々練習に励んでいます。男女での団体、ダブルス、シングルスでの全道大会出場を目標に、部員同士切磋琢磨しながら活動に取り組んでいます。北高卓球部のOB・OGの方々には、日頃より激励のお言葉をいただいたり、練習に参加していただいたりと大変お世話になっております。心より感謝申し上げます。保護者の方々、顧問の先生方、その他自分たちに関わっていただいているすべての方々への感謝の気持ちを忘れず、恩返しができるよう精一杯努力していきます。これからも応援をよろしくお願いいたします。

◆全旭川高校卓球選手権大会

4月29日・30日 鷹栖町体育館

・女子団体 女子A：優勝、女子B：3位

・男子団体 男子A：2位

・女子ダブルス 谷島・清杉組↓優勝

宇高・畠組 ↓ベスト4

・男子ダブルス 徳島・青山組↓優勝

・女子シングルス 清杉↓準優勝

谷島↓ベスト4

宇高↓ベスト8

◆男子シングルス 青山、徳島↓ベスト4

◆北海道高等学校卓球選手権大会旭川支部予選会

5月17日・19日 旭川市リアルター夢りんご体育館

・女子ダブルス 谷島・清杉組↓2位



- 男子シングルス 徳島↓3位
- 女子シングルス 青山↓5位
- 宇高↓5位
- 谷島↓5位
- 清杉↓5位

◇北海道高等学校卓球選手権大会
6月13日～16日 北ガスアリーナ札幌46

- 女子ダブルス 谷島・清杉組↓2回戦敗退
- 男子シングルス 徳島↓1回戦敗退
- 青山↓1回戦敗退
- 宇高↓1回戦敗退
- 谷島↓3回戦敗退
- 清杉↓3回戦敗退

◇北海道高等学校卓球大会旭川支部予選会
11月11日～11月12日 鷹栖体育館

- 男子団体↓第2位
- 女子団体↓第2位
- 男子ダブルス…金子・菊井組↓ベスト8、
- 女子ダブルス…谷島・清杉組↓優勝、
- 畠・小神組↓ベスト4
- 板垣・坂上組↓ベスト8
- 男子シングルス(スーパードル)…
- 金子・菊井↓ベスト4
- 女子シングルス(スーパードル)…
- 谷島・清杉↓ベスト8

◇全旭川高校卓球選手権大会
9月9日～9月10日 鷹栖体育館

- 女子ジュニアシングルス…
- 清杉↓準優勝
- 谷島↓ベスト4
- 一般女子ダブルス…
- 谷島・清杉組↓ベスト8

◇北海道高等学校卓球大会
12月15日～12月18日 旭川市リアルター

- 夢りんご体育館
- 男子団体 1回戦敗退
- 女子団体 3回戦進出(ベスト16)
- 男子ダブルス 金子・菊井組 3回戦進出

- 女子ダブルス 青山・山本組↓2回戦敗退
- 谷島・清杉組 3回戦進出
- 畠・小神組↓2回戦進出
- 板垣・坂上組↓1回戦敗退

◇特別国民体育大会(卓球競技)北海道予選会
6月2日～6月4日 旭川市リアルター

- 夢りんご体育館
- 男子シングルス 金子…予選Bブロック4回戦進出
- 青山…予選Aブロック3回戦進出
- 徳島…予選Dブロック3回戦進出
- 菊井…予選Aブロック2回戦進出
- 山本…予選Cブロック2回戦進出
- 女子シングルス 清杉…予選Dブロック4回戦進出
- 宇高…予選Bブロック3回戦進出
- 藤野…予選Cブロック2回戦敗退
- 谷島…予選Aブロック2回戦敗退
- 三谷…予選Dブロック1回戦敗退

◇北海道卓球選手権大会
10月7日～10月9日 苫小牧市総合体育館

- ジュニア男子シングルス 菊井 3回戦進出
- ジュニア女子シングルス 清杉 3回戦進出
- 谷島 4回戦進出
- 小神 1回戦敗退
- 一般男子シングルス 金子 2回戦進出
- 一般女子シングルス 谷島・清杉 3回戦進出
- 女子ダブルス 谷島・清杉組 3回戦進出

●バドミントン部

バドミントン部は現在男子19名、女子10名の計29名で活動しています。辛い練習でも協力し合って楽しく練習に取り組んでいます。

昨年度は男女ともに団体が全道大会出場を果たすことができました。

顧問の先生をはじめ、O.G.O.B、大学生、社会人の方々のご支援、ご指導をいただいていたりと、昨年度まで使用できなかった旧体育館が今年度から使用できるようになり、より効率の良い練習ができるようになったりなど、充実した環境で活動させてもらっています。

今後、周囲の環境があつてはじめて我々の活動があることに感謝し、自分のやるべきこと、できることを考え行動し、関わってくれた人たちに恩返しできるように励みます。

【令和6年度主な大会結果】

- ◇国民体育大会旭川地区予選 男子複 小林・山崎 準優勝
- 女子複 菅野・太田 7位
- 男子単 小林 準優勝
- ◇国民体育大会北海道予選会 男子複 小林・山崎 2回戦敗退
- 男子単 小林 2回戦敗退
- ◇高体連旭川地区予選 男子団体 3位
- 男子複 小林・山崎 3位

●ソフトボール部

私たちソフトボール部は、顧問の本田先生、荒井先生、保護者の方々をはじめ、たくさんの方々に支えられながら、日々楽しく一生懸命活動しています。シーズン中の平日はグラウンドでキャッチボールやノックなどで基本練習をして、基礎を身につけています。週末には練習試合や旭川商業と合同練習を行い技量を高めています。冬は個々の技術を上げるために、階段ダッシュや羽打ちをしています。昨年の高体連では、残念ながら旭川商業に10対16で負けてしまいました。5連覇とはなりませんでしたが、今年も新入部員が入らず、旭川商業と連合チームで全道大会に出場します。先輩方から教わったことを大事にし、人数が少ない中でも自分たちの良いプレーができるよう、感謝の気持ちを忘れずに日々の練習も大切にしていきたいです。どうかこれからも応援を

よろしくお願いします。

- ◇令和5年度 高体連旭川地区予選 旭川北 10-16 旭川商業
- (全道大会旭川地区第2代表)
- 高体連全道大会 旭川北 12-13 岩見沢緑陵・農業
- 選抜全道大会 旭川北・商業・滝川西 12-19 小樽桜陽

●応援団&チアリーディング部

北高応援団は、男子の応援団と女子のチアリーディング部で構成されています。応援団は、少林寺拳法部の部員が兼部しており、少林寺拳法の動きのキレを生かして、熱く情熱に満ちた応援で全校を引っ張っています。コロナから回復して以降は大きな声での応援がより活発になっており、例年にもまして力を入れて、北高生らしいフレッシュで活気あふれる応援を行っています。

チアリーディング部は、野球の全校応援をはじめ学校祭やクリスマスイベントなどのイベントで、北高生の皆さんに元気の練習に励んでいます。また、地域のイベントにも参加し、北高生だけではなく、私達全体活性化にも繋がればという気持ちで活動しています。活動を通じて、見てくださる方が笑顔になることや、「また見たい！」といった温かい言葉をかけていただくことで、何より私達自身が元気づけられています。

私達が常に意識している「笑顔」と「息のあったパフォーマンス」は、部員一人一人が真剣に日々の練習に取り組んでいることと、明るく元気な気持ちによって作り上げられています。先輩・後輩関係なくお互いに提案をしあい、全員で一つの目標に向かって頑張ろうとする雰囲気が出ています。これからも、これまで以上にレベルアップして、私達らしいパフォーマンスを追求し続けたいと思っています。

男子も女子も、私達は北高応援団として、頑張る皆さんの力になれるよう、また笑顔で格好いい私達でいられるように、常に全力で活動していきます。

●男子バスケットボール部

今年度は3年生7名、2年生9名、1年生3名とマネージャー2名の21名で活動しています。今年度は残念ながら新入部員が少なかったのですが、その分、コミュニケーションをとり、いこうとやっつけようという気持ちでまとまっています。



現在、新チームとなり、気持ちも新たに頑張っております。再び全道大会出場を目指し頑張っておりますので、応援をよろしく願います。

【令和5年度】

◇旭川地区春季大会

- 1回戦 旭川北 76 - 47 富良野
- 2回戦 旭川北 100 - 40 羽幌
- 準決勝 旭川北 51 - 118 旭川工業
- 3位決定戦 旭川北 70 - 68 旭川志峯

◇高体連旭川支部予選

- 1回戦 旭川北 99 - 47 留萌
- 2回戦 旭川北 60 - 40 旭川農業
- 決勝リーグ 旭川北 42 - 100 旭川龍谷
- 旭川北 41 - 117 旭川工業
- 旭川北 66 - 75 旭川志峯

3位

◇キシイカップ

- 1回戦 旭川北 76 - 61 旭川実業
- 2回戦 旭川北 83 - 59 旭川永嶺

◇選手権旭川予選

- 旭川北 68 - 59 旭川永嶺

- 1回戦 旭川北 74 - 43 旭川南
- 2回戦 旭川北 36 - 84 旭川永嶺

- 2回戦 旭川北 20 - 146 旭川藤屋
- ◇第36回 北海道高等学校バスケットボール新人大会 旭川地区予選会
- 1回戦 旭川北 20 - 0 旭川西・旭川農業・東川連合
- 2回戦 旭川北 39 - 108 旭川藤屋

◇旭川支部秋季大会

- 1回戦 旭川北 72 - 64 留萌
- 2回戦 旭川北 67 - 46 旭川実業
- 準決勝 旭川北 42 - 87 旭川工業
- 3位決定戦 旭川北 57 - 75 旭川志峯

◇新人大会旭川予選

- 1回戦 旭川北 57 - 78 旭川永嶺

●女子バスケットボール部

今年度は3年生2名、2年生7名、1年生4名の13名で活動しています。コロナ禍が明け、ようやく本来の活動ができるようになり、他校との交流戦を含め日々練習に励んでいます。新入部員の加入によりチーム内での5対5のゲーム形式が可能となり、3年間使用できなかった旧体育館も使用可能となつて、充実した環境で活動することができています。今後も北高女子バスケット部の良き伝統を受け継ぎながら、全道大会出場を目指して頑張っていきます。ご支援をよろしく願っています。

◇令和5年度 旭川地区春季バスケットボール大会

- 1回戦 旭川北 44 - 58 旭川東
- ◇令和5年度 全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会 旭川支部予選会

◇令和5年度 第28回キシイカップ

- 1回戦 旭川北 50 - 69 旭川商業
- 2回戦 旭川北 42 - 109 旭川龍谷
- 敗者戦 旭川北 60 - 51 旭川永嶺

◇令和5年度 北海道高等学校バスケットボール選手権大会 旭川地区予選会

- 1回戦 旭川北 70 - 61 旭川永嶺
- 2回戦 旭川北 29 - 126 旭川明成
- ◇令和5年度 旭川支部高等学校バスケットボール秋季大会
- 1回戦 旭川北 68 - 61 旭川西・旭川農業・東川連合

●山岳部

山岳部は現在男子13名、女子6名、顧問2名で活動しています。登山競技は歩行技術の他、ペーパーテスト・天気図作成・幕営・調理などの技能を得点化し、競います。平日は体力トレーニングや技能訓練を行います。休日は登山を行って植生や地形を調べたり、チームワークを高めています。大会の勝敗も大事ですが、自然を満喫することもこの部活動の特徴です。合宿ではバーベキューを行ったり、夜空に輝く星を見たり、日常では味わえない経験をしています。

◇令和5年度 北海道道インテターハイが行われ、男女ともに出場を果たすことができました。全国の仲間との交流により、他校の登山技術の高さを知ることができました。この経験をもちに、来年度も上位入賞を目指して頑張ります。

【令和5年度】

◇北海道高等学校登山競技大会旭川支部予選会

- 男子2位 女子1位
- ◇北海道高等学校登山選手権大会
- 男子および女子2位
- ◇全国高等学校総合体育大会登山大会
- 男子および女子 出場
- ◇北海道高等学校選抜登山大会
- 男子および女子2位

●少林寺拳法部

令和6年5月時点の活動報告をいたします。4月に新入生男子1名、女子5名が加

わり、25名で活動しています。3月に卒業していった先輩達の後を継いだ中枝主将を中心に、部全体が引き締まり、6月の高体連に向けて熱心に修練に励んでいます。旭川北高校に赴任して4年目、教師としてのキャリアは30年を超えている私ですが、今年度の3年生8人は、日頃の修行に対する姿勢は勿論、仲間や後輩達に対する接し方、学校生活全般や学校を出たときの行動実践、そのどこを見ても自慢できる生徒で、お恥ずかしながら人間的にはあらゆる面で顧問の上を行っています。

ここ数年、富良野高校が全道は勿論、全国制覇を続けており、打ち倒すのは容易なことではありません。しかし、今彼らはその難題に果敢に挑戦しています。顧問にできることは、彼らと一緒にその瞬間を迎えることです。心から応援しています。少林寺拳法部OB・OG諸先輩の皆さん、旭川北高校少林寺拳法部、頑張っています！

◇令和5年 高体連全道大会 (6月10) 11日 北海道富良野高等学校 体育館

(女子) 少林寺拳法女子総合の部3位

団体演武3位

島山③・成澤③・藤田③・中枝②・小暮②・中越② 3位

単独演武 岩川② 5位 島山③ 6位

自由組演武 成澤・藤田組 5位

見習い演武 白井 5位

◇令和5年 新人戦全道大会 (12月16日) 北海道旭川南高等学校体育館

(男子) 規定組演武

羽廣・加藤① 1位

(女子) 団体演武2位

中枝② 小暮② 中越②

佐久間② 土佐② 藤本②

規定単独演武 白井① 3位

自由組演武 中枝・小暮② 3位

規定組演武 柴山・山本① 1位

◇令和5年 新人戦全国大会



(3月22日) 24日 香川県善通寺市民体育館

(男子) 規定組演武 羽廣・加藤①

決勝ラウンド進出

(女子) 規定組演武 柴山・山本①

決勝ラウンド進出

●剣道部

剣道部は、今年度男子5名、女子6名、総勢11名で活動しています。毎年なんとかチームを組んでいる人数ですが、先輩たちが築いてきた伝統を受け継ぎ、「全道優勝」を目標に、「人間形成」を目的に日々練習に励んでいます。勉強と部活動は支え合うのではなく、それぞれ強くなる道は同じであるという考えのもと、文武のきりかえをしつかりして高校生活を充実させることができるように努力し、凛とした姿で洗刺と活躍できる剣道部を目指しています。

昨年度は高体連支部大会で女子団体3連覇を果たし、男子団体も準優勝することができました。また、11月の道北ブロック新人大会でも女子団体2連覇、個人でも優勝3位入賞するなど、全道レベルの大会でも結果をだすことができています。

これから高体連大会がはじまりますが、自分たちが取り組んできたことに自信を持って、大会ではしっかりと力を発揮できるように頑張りたいと思います。

日頃から北高の活動を支えてくださっている方々にこの場を借りてお礼申し上げます。これからもご支援、ご声援のほど、よろしく願います。

【令和5年度おもな大会結果】

・春季大会 男子団体3位、女子団体優勝

・高体連旭川支部大会

男子団体2位

女子団体優勝(3連覇)

男子個人 3位 佐々木(3年)

女子個人 優勝 小菅生(3年)、2位 柴田(3年)

※男女団体、個人6名全道大会出場

・道北ブロック新人大会 女子団体優勝(2連覇)、男子団体5位

女子個人 優勝 柴田(2年)、2位 山崎(2年)

※男女団体、個人4名全道大会出場

・高体連全道新人大会

女子個人 3位 山崎(2年)

●陸上競技部

陸上競技部は男子18名、女子13名、マネージャー7名の計38名で活動しています。昨年度は、高体連では17名の選手が、新人戦では13名の選手が、全道大会出場権を獲得することができました。

そのうち高体連では、男子のリレーが惜しくもあと一步のところ北海道インターハイへの切符を掴み取る事はできませんでした。公立高校の中では全道1位という結果を収めることができました。全道高校駅伝では男子は合同チームで4名の選手が、女子は短距離選手を含む5名の選手が、男女共に10位に輝きました。陸上競技部は、個人競技でありながらお互いを支え合い、団体競技のような一体感で日々部活動に励んでいます。私たちは普段応援してくださる方や、支えてくださる方への感謝を忘れずに部活動に取り組むこと、当たり前のことを当たり前にすることを部則として練習をしています。

今年度は福岡県で行われるインターハイに1人でも多くの選手が出場できるように、今後も一人一人が自分の競技と向き合って競技を全力で楽しみ、応援されるチームを目指して練習を積んでいきたいと思ひます。これからも旭川北高陸上部の応援をよろしく願います。



【令和5年度 成績】

◇第76回北海道高等学校陸上競技選手権大会

男子100m 森山 隼生(2年)

予選敗退

男子400m 大友 颯人(3年)

予選敗退

男子800m 遠藤 優太(3年)

準決勝敗退

男子800m 高橋 翔琉(3年)

予選敗退

男子1500m 遠藤 優太(3年)

決勝15位

男子1500m 高橋 翔琉(3年)

予選敗退

男子1500m 吉田 礼(1年)

予選敗退

男子5000m 佐藤 大心(1年)

決勝17位

男子5000m 吉田 礼(1年)

予選DNS

男子3000m 北川 逢佑(3年)

予選敗退

男子3000m 吉田 礼(1年)

予選敗退

男子走幅跳 藤田 開成(3年)

決勝9位

女子800m 中山 早姫(3年)

準決勝敗退

女子800m 岩戸 結華(2年)

予選敗退

女子1500m 中山 早姫(3年)

決勝DNS

女子1500m 岩戸 結華(2年)

決勝13位

女子3000m 玉木 里奈(3年)

予選DNS

女子3000m 岩戸 結華(2年)

予選敗退

女子走高跳 松井 心(3年)

予選敗退

女子走幅跳 村上 綺音(2年)

予選敗退

男子4x400m 森(2年) | 遠藤

(3年) | 高橋(3年) | 大友(3年) 準決勝敗退

女子4x100m 坂谷内(3年) | 三好(3年) | 村上(2年) | 松井(3年) | 予選敗退

女子4x400m 坂谷内(3年) | 中山(3年) | 荒川(3年) | 三好(3年) | 予選敗退

◇第39回北海道高等学校新人陸上競技大会

男子100m 森山 隼生(2年)

準決勝敗退

男子200m 森山 隼生(2年)

予選敗退

男子400m 森 柁斗(2年)

予選敗退

男子800m 山野 民生(2年)

予選敗退

男子800m 藤田 陽向(1年)

予選敗退

男子1500m 佐藤 大心(2年)

予選敗退

男子1500m 吉田 礼(1年)

予選敗退

男子5000m 佐藤 大心(1年)

TR決勝15位

男子3000m 吉田 礼(1年)

TR決勝19位

女子100m 五十嵐藍珠(1年)

予選敗退

女子400m 佐々木美緒(2年)

予選敗退

女子1500m 岩戸 結華(2年)

決勝9位

女子3000m 岩戸 結華(2年)

TR決勝9位

女子3000m 荻生 亜紀(1年)

TR決勝DNS

男子4x100m 予選DNS

男子4x400m 茂田(1年) | 鈴木(1年) | 山野(2年) | 森(2年)

TR決勝42位

女子4x400m 村上(2年) | 岩戸(2年) | 東(2年) | 佐々木(2年)

TR決勝34位

◇第76回男子・第39回女子 北海道高等学校
校駅伝競走大会

男子 旭川北・旭川龍谷・旭川工業合同
チーム

男子10位

第3区 佐藤 大心(2年) 区間9位

第4区 吉田 礼(1年) 区間13位

第5区 鈴木 優希(1年) 区間16位

第6区 山野 民生(2年) 区間10位

女子 旭川北
女子10位

第1区 岩戸 結華(2年) 区間8位

第2区 荻生 亜紀(1年) 区間14位

第3区 五十嵐藍珠(1年) 区間14位

第4区 玉木 里奈(3年) 区間8位

第5位 中山 早姫(3年) 区間8位

●アーチエリート部

アーチエリート部は3年生14名、2年生5名、1年生12名の計31名で活動しています。

2023年度の春季全道大会では、女子団体優勝(2連覇)を果たしました。36年振りの北海道インターハイ(帯広開催)には女子団体と男子個人好結果が出場し、健闘しました。これからも部員一同精進して行きたいと思っています。どうか応援よろしくお願いいたします。

◎2023年度

【春季全道大会(6月、帯広の森陸上競技場)】

女子団体優勝(鈴木、加藤、佐藤莉、三戸)

男子団体3位(高橋、渡邊、田中、小山)

【インターハイ(8月、帯広の森陸上競技場)】

女子団体予選5位、決勝5位(入賞)

(鈴木、加藤、佐藤莉、三戸)

男子個人出場(高橋、侑椰)

【秋季全道大会(9月、旭川市花咲公園球場)】

女子団体優勝(三戸、吉田、本郷、石垣)

男子団体優勝(小山、齋藤、森武、柳瀬)

【国民体育大会(10月、鹿児島県鹿児島市)】

女子 本郷椎夏 出場

【全国選抜大会(3月、静岡県掛川市)】

女子 吉田 桜 出場

男子 小山凛太郎 出場

●囲碁部

現在、男子7名で元気に活動しています。今年3月、東大阪市で行われた全国高等学校囲碁選抜大会に、団体で北海道代表として参加しました。

そして、5月23日〜24日地元旭川で行われた全道高校囲碁選手権大会において、団体で悲願の初優勝を果たすことができました。7月の全国選手権大会に出場します。

5月29日〜31日の函館で開催された全道高校将棋大会にも参加し、個人戦で決勝トーナメントのベスト16に進出した生徒もいます。

今後も囲碁と将棋において日々精進していきたく思います。応援よろしくお願いたします。

【令和5年度 全道高等学校囲碁新人大会(11月札幌市)】

団体戦 準優勝

(出村・大場・岩波 全国大会へ進出)

個人戦 9位 大場

11位 岩波

12位 出村

【令和5年度 全国高等学校囲碁選手権大会(3月東大阪市)】

団体戦 0勝4敗 16位

【令和6年度 全道高等学校囲碁選手権大会(5月旭川市)】

団体戦 優勝

(出村・大場・岩波 初優勝)

7月の全国大会へ進出)

個人戦 12位 大場

16位 岩波

17位 梅澤

18位 出村

【令和6年度 全道高等学校将棋選手権大会(5月函館市)】

個人戦 決勝トーナメント進出

ベスト16 梅澤

予選リーグ敗退 齋藤

【令和6年度 全国高校囲碁選手権大会(7月東京都)】

団体戦出場決定(7月22日から開催されます)

●吹奏楽部

吹奏楽部は、現在1学年から3学年合わせて34名で活動をしています。年々部員数は減少傾向にあり、今までにない課題も増えましたが、部員は皆元気に活動しています。

昨年は高文連上川支部音楽発表大会で優秀賞を受賞し、全道音楽発表大会へ参加いたしました。また、旭川市主催「成人を祝う集い」でも演奏することができ、地域の皆様に楽しんで頂ける演奏を目指して活動を続けています。

今年も9月8日(日)に第48回定期演奏会を旭川市民文化会館大ホールにて開催いたします。記念すべき50回目の演奏会を2年後に控え、より充実した活動ができるように頑張りたいと思います。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

引き続き、よりよい音楽活動を目指して部員一丸となって努力していきたいと思えます。

【令和5年度の活動】

◇スプリングコンサート開催(於:旭川市大雪クリスタルホール音楽堂)

◇第92回北海道音楽大行進・アフターコンサート参加

◇高文連上川支部音楽発表大会 コンクール部門 優秀賞

◇北海道吹奏楽コンクール旭川地区予選 高等学校A編成の部 金賞

◇第47回定期演奏会開催(於:旭川市民文化会館大ホール)

◇高文連全道音楽発表大会参加(於:小樽市民文化会館)

◇北海道個人・アンサンブルコンテスト

木管八重奏 金賞

金管八重奏 金賞

アルトサクソフォン独奏 金賞

●写真部

写真部は現在、1年生8名、2年生6名、3年生2名の計16名で活用しています。

普段の活動では校内や校外で撮影会を行い、各々が撮った写真を部内で講評し合います。年に数回はプロの写真家の方をお呼びして、日々撮影技術の向上を目指して励んでいます。最近では他部からの撮影依頼も増え、写真部として様々な場面での活躍がありました。

今後多くのお大会で北高写真部の名を轟かせられるよう努力し、写真の良さを伝えていけるように頑張ります。

【成績・結果】

◇第七十一回写真道展

入賞 杉原知佳・横澤 優羽

◇高文連上川支部写真展・研究大会

奨励賞 村椿 紬音・横澤 優羽

●美術部



今年度は3年生6名、2年生6名、1年生6名の計18名で活動しています。油彩、ペン画、鉛筆画、水彩画、立体で質の高い作品作りを目指しています。

昨年の高文連支部大会では、支部優秀6名、入選13名、佳作3名と大健闘し、全道大会に14点の作品を発表しました。また、旭川冬まつり高校生雪像甲子園には5チー



ム出場し全チーム受賞することができました。美術部卒業生は現在まで東京藝術大学、多摩美術大学、金沢美術工芸大学、長岡造形大学、教育大岩見沢校他に進学しています。今後も学業と両立しながら活躍することを期待しています。

●演劇部

今年度、演劇部は3年生3名と2年生2名の計5名で活動してきました。学校祭で『正義の味方』、秋の高文連で『天国と地獄』、クリスマスイベントで『ハッピー・コール』、春の演劇祭では『宅急便』『Sense of wonder』の2本立てを上演しました。部員数が少ないことから、2人劇が中心にはなりましたが、納得できる舞台を作り上げることができました。また、3年生にとっては最後の活動である劇団氷点華においても、『俺とマリコと終わらない昼休み』で本校部員が総合演出と主演を務めあげ、市内高校の共に演劇に関わる仲間たちと素晴らしい舞台を作り上げることができました。

3年生は氷点華の活動をもって引退し、これからは2年生（2人新入部員が加わりました）4名で、新たに舞台を作り上げていくこととなります。ですが、昨今の部員数減少のために、残念ながら演劇部は新入部員募集停止となってしまう……。来年度の氷点華がおそらく北高演劇部として最後の活動になるかもしれません。令和7年の5月下旬、旭川公会堂にて劇団氷点華の公演が行われる（はず）ですので、是非ともご覧ください！

●華道部

私たち華道部は、今年度3年生2名と顧問の瀧川先生、外部講師の立岩先生のご指導のもと活動しています。2名とも兼部していることもあり、月の活動は少ないですが、一回一回を大切にしながら行っています。普段の活動では、花店から届けられる

様々な花材を使って試行錯誤しながらお花を生けています。どう生けたらいいかわからなくなったり時には、立岩先生からアドバイスをもらったりしながら、作品を完成させます。学校祭では、いつもよりも豪華な花材を使って「北高花展」という展示を行っています。今まで学んできたことを様々な方に見ていただく機会なので「一生懸命作品に取り組みます。そして、「北高花展」の目玉であるセンターピースは部員全員で作ります。多くの種類の花材を使うのでとても大きく美しい作品ができます。秋に行われる池坊インターネット花展では、一年の集大成となる作品を作ります。ノミネット作品に選ばれるようにいつも以上に集中しながら花を生けます。華道をするこ

とで花についての知識が増えたり、生けるときの様々なコツを知ることができました。華道部は今年度の3年生が引退と同時に長い歴史に幕を下ろします。最後の活動まで北高華道部として頑張っていきたいと思います。

●茶道部

現在、私たちは1年生6名、2年生3名、3年生1名の計10名で活動しています。活動は週に2回で、月曜日は講師の立岩先生ご指導の下稽古に励み、木曜日は2、3年生が中心となり基本練習の席入りや帛紗さばきなどの稽古、基本のお点前などを行っています。

毎年7月の学校祭は、日頃の練習の成果を披露できる貴重な機会です。昨年度は新型コロナウイルスの5類移行に伴い入場制限がなくなったことで、多くの方にお茶席に来ていただくことができました。お茶席でお点前を披露するために日々稽古に取り組む、3年生が中心となって無事終えることができました。今年度も、日曜日のみとなりませんがお茶席を実施する予定です。

3年生は7月で引退し、8月からは2年生が中心となって部活が行われます。部員数の減少によって廃部が決定してしまいましたが、現在の1年生が卒業するまでは活

動できるので、それまで楽しく活動していきたいです。

●インターアクト部

現在私たちインターアクト部は3年生5人、2年生3人、1年生7人の合計15人で旭川北ロータリークラブのご支援のもと、様々なボランティア活動に取り組みしています。インターアクト部は、インターナショナルとアクションを組み合わせた造語で、国際的な視点に立ちボランティア活動を通して地域社会に貢献することを目的としています。



昨年度までの顧問の先生から新しく顧問が代わりました。また、1年生7人が新たに加入して、活気のある部活動として4月をスタートさせています。4月は旭川市のゴミ拾いに参加したり、あしなが学生募金ボランティアで旭川駅前に出かけました。学校内に留まらず、いろいろな場所に出かけいろいろな人たちと関わる中から私たちにできることをしていきたいと考えています。随時活動内容を本校HPでお伝えできればと考えています。今後とも私たちの活動にご理解、ご協力をいただければと思います。

- ① 美化活動
 - ・ 校舎内の清掃
- ② 募金活動
 - ・ 学校敷地内および周辺のごみ拾い
 - ・ ペットボトルキャップ・リングブルの回収
- ③ 地域との関わり
 - ・ 赤い羽根共同募金活動の校内募金実施
 - ・ あしなが学生募金ボランティア

旭川冬まつりの雪だるま作りボランティア

- ・ イア 観光客ガイドボランティア
- ・ 春光住民児童センターボランティア
- ・ 障害者スポーツイベント
- ・ 旭川市障害者週間記念事業参加
- ④ 大会参加
 - ・ 高文連上川支部ボランティア研究大会
 - ・ 高文連全道ボランティア研究大会
 - ・ 旭川北ロータリークラブ例会
 - ・ 国際ロータリー第25000地区インターアクト地区大会

●文芸部

私たち文芸部は廃部となりますので今年度が最後の活動となります。そのため新入部員募集は停止しており、3月に1名の卒業生を送り出して以降、3年生1名と顧問1名という少ない人数で活動しています。



昨年度は上川地区大会と全道大会という2つの大会に参加しました。分科会を通して文芸作品の面白さや奥深さを再認識したり、普段会うことのない遠くの地域から集まったたくさんの文芸部員の方と交流を深めたりと、とても有意義な時間を過ごせました。また、短歌と俳句それぞれの部門で優良賞を獲得し、北海道・東北大会へ推薦されました。

学校祭では、毎年恒例の写真部とのコラボ作品を展示したり、部誌「玉響」を発行したりし、訪れた多くの方々が文芸作品に触れることのできる場所を提供できたと思います。今年度は文芸部最後の学校祭というので、音楽と掛け合わせた新しい企画も追加する予定です。

少人数ではありますが、先生方をはじめとする多くの方々からのサポートがあって、これまで活動を続けることができたと思っています。有終の美を飾れるよう最後の最

後まで頑張って活動していただきますので、温かく見守っていただければ幸いです。

●理科実験研究部

私たちが理科実験研究部は現在1年生2名、2年生7名の計9名で活動しています。サイバルで行われるイベントに参加したり、科学に関する疑問を研究し、大会で発表したりしています。



昨年は、サイバルのサイエンスボランティアの活動に数多く参加しました。6/18、2/4にサイバルで行われた旭川学生の科学展、3/24に行われたジオフェスティバルにブースを出展しました。6/18のわくわくサイエンスでは水と片栗粉を用いて握ると固まり、手を開くと液体になるダイラタンシーを体験してもらいました。旭川学生の科学展では電気クラゲなどの静電気に関する実験、2/4のわくわくサイエンスでは偏光板を用いて壁がないのがあるように見える模型の工作を行いました。初参加となったジオフェスティバルではアンモナイトのレプリカ作りと、地震の液状化現象の実験を行いました。

また、福島第一原発の処理水を含む問題などをきっかけに、どのような環境で、どのくらいの自然放射線を受けているか疑問に思い、室内や草原、トンネルの中など身近な場所の放射線量を比較する研究をし、全道大会で発表しました。今年は昨年とは違う化学の分野の研究を行おうと考えています。わからないことも多く、うまくいかないこともあると思いますが、しっかりと準備をして大会に臨もうと思います。

●放送局

私たちが放送局は、新入局員1名を迎え、2年生3名、1年生1名の4名と顧問の鈴木証先生で活動しています。

先日行われた北海道高等学校文化連盟第48回全道高等学校放送発表大会兼第71回NHK杯全国高校放送コンテストではラジオドラマ部門・テレビドラマ部門ともに奨励賞で全道大会出場とはなりませんでしたが、今後はより技を磨いて全道大会出場を目指し努力してまいります。



また、お昼の放送をはじめとした日頃の活動にも全力で取り組み、ほぼ毎日行っている発声練習の成果を存分に発揮し、北高内に放送局の声を轟かせています。

校外活動では、月二回、隔週月曜日にFMリバーの「月曜宝くじ」という番組を担当しています。聞いていただけると嬉しいですし、また、一月末にICTパーク（旧国劇）で行われる、「まちなか学生映画祭」にも毎年参加しています。観に来ていただいたり、聴いていただいたりすると嬉しいです。

結びになりますが、私たちが放送局は少ない人数ではありますが、陰から学校を支えられよう、さらに高みを目指して頑張ります。引き続き、応援よろしくお願ひします。

●音楽部

私たちは3年生20人、2年生16人、1年生12人の48人と朝野先生と富田先生で活動しています。北高音楽部はバンドごとに学祭や部内発表会などのイベントに向けて日々練習を重ねています。人数が多いためバンドの数も多く、なかなか練習の機会を

それぞれが多くなることはできませんが、各自家で自主練習をしたり、街中のスタジオを借りたりして譲り合いながら部室を使っています。

昨年度も部員全員から集めた部費で新しいギターアンプなどを購入し、素敵な演奏を観客の方々に届けることができました。また、北高学祭で演奏する場を設けて頂いたり、音楽部員で計画を立て部内発表会を開催したり、多くの方々の協力により様々な貴重な経験をすることができました。

先輩方が代々引き継いでくださり、現在人数も増えて規模がとて大きくなった北高音楽部を廃れさせることのないよう、これからも努力を惜しまず、周りの仲間と支えてくださる方々全員への感謝を忘れず、邁進してまいります。



●書道部

今年度は1年生4名が入部し、2年生11名、3年生7名の合計21名で高文連に向けて日々作品制作をしています。活動は本校卒業生である顧問の日暮 豊先生より、専門的なアドバイスをいただきながら技術を磨いています。今年、西イオンモール、永



山イオンモールにて書道パフォーマンスを実施し、護国神社ではき平和を記念した作品を奉納する予定です。

また、様々な展示会出品に向け、努力を惜しまず部員と協力しながら感動する作品を創りあげたいと想いを募らせています。これから書道部は長年続く伝統を守り、書の新しい可能性にチャレンジし、より一層邁進していきたいと思っています。

●生徒会執行部

生徒会執行部は、現在1年生7名、2年生11名、3年生7名の計25名で活動をしています。

例年、4月に開催されている新入生歓迎会や部活動オリエンテーション、常任委員会等を経て、現在は7月に予定されている北高祭へ向け、準備を進めています。北高祭準備では、企画立案とその調整、さらに運営をそれぞれセクションに分け、毎日遅くまで学校に残って頑張っています。今年度の北高祭は、昨年度に引き続きコロナ禍によって中止や短縮を余儀なくされた各年次の行事や露店など、以前の形にさらに戻して開催する方向で調整を進めています。今年、7月7日（土）～8日（日）に開催いたしますので、是非学校に足を運んで頂きたいと思っています。

生徒会活動は、学校文化の一端としてとても大切な活動であると思っています。お陰様で、本校は卒業生の皆様はじめ、生徒や教職員、地域の方々にもお力添えを頂きながら活動しております。引き続き今後文化活動の発展を願いつつ、生徒会活動に努力をしていきたいと思っています。



旭川北高

同窓会役員・幹事名簿

●同窓会役員名簿

役職名	氏名	卒業期
顧問	山形 積治	北8
顧問	西館 勝友	北13
顧問	八重樫和裕	北18
顧問	川島 崇則	北18
顧問	尾崎 信彦	北25
会長	山本 淳一	北28
副会長	潮 日出夫	北25
副会長	山川 国土	北31
副会長	酒井 保則	北41
副会長	近藤 博之	北43
会計監査	庄司 和晴	北18
会計監査	吉村 千鳥	北25
会計監査	富田 公裕	北25
総務部長	水口 貴浩	北39
総務副部長	田中 充	北25
総務副部長	城 裕一	北25
総務副部長	菅原 徹	北32
総務副部長	小枝 万美	北32
会計部長	岡田 安正	北35
会計副部長	栗山 英	北39

役職名	氏名	卒業期
文化部長	木村 公俊	北25
文化副部長	山中いつ子	北19
文化副部長	鈴木 弥生	北25
文化副部長	平間 明鑑	北26
文化副部長	小菅千賀子	北29
文化副部長	赤松 浩恵	北30
校内担当	本田 晴樹	北32
校内担当	笹森 敦	北37
校内担当	朝野由佳子	北40
校内担当	安藤 光泰	北43
札幌会会長	山川 広行	北25
札幌会副会長	加門 清	北25
札幌会副会長	増田 幸夫	北28
札幌会事務局	北本 宏治	北37
会計監査	赤坂 誠司	北33
東京会顧問	柿林 博司	北22
東京会会長	田隴 美香	北27
東京会副会長	西野 秀麿	北28
岩手会会長	牛崎 鏝二	北6

●各期幹事長名簿【定時制課程】

卒業年度	期	氏名
昭32定卒	1	山崎 安光
昭33定卒	2	
昭34定卒	3	
昭35定卒	4	
昭36定卒	5	
昭37定卒	6	金山 紘一
昭38定卒	7	森下 義治
昭39定卒	8	窪田 冠治
昭40定卒	9	小野寺 勤
昭41定卒	10	小林 輝雄
昭42定卒	11	千葉青次郎
昭43定卒	12	田村 篤
昭44定卒	13	神藤 茂春
昭45定卒	14	大屋 秀行
昭46定卒	15	深谷富美雄
昭47定卒	16	奥山 寿雄
昭48定卒	17	錦川 敏文
昭49定卒	18	堀井 敏明
昭50定卒	19	千村 敦雄
昭51定卒	20	
昭52定卒	21	小柳 智弘
昭53定卒	22	菅野 敏彦
昭54定卒	23	泉 誠
昭55定卒	24	柴田 仁
昭56定卒	25	川方 和人
昭57定卒	26	中原 泰司
昭58定卒	27	山中 敏行
昭59定卒	28	日塔 浩之
昭60定卒	29	太田 房枝
昭61定卒	30	入野 直美
昭62定卒	31	上林山健次

卒業年度	期	氏名
昭63定卒	32	篠原 誠
平1定卒	33	窪田 竜三
平2定卒	34	新見 稔
平3定卒	35	西尾 悟
平4定卒	36	浅井 智希
平5定卒	37	大橋 恵子
平6定卒	38	早川 立人
平7定卒	39	細田 勝巳
平8定卒	40	遠藤 智康
平9定卒	41	菅原臣一郎
平10定卒	42	岡本 香織
平11定卒	43	渡辺加代子
平12定卒	44	日野 洋一
平13定卒	45	島崎 匡世
平14定卒	46	福島 達
		多田 妙子
平15定卒	47	白田 由佳
		船田 美咲
平16定卒	48	眞田 功嗣
		白井 道恵
平17定卒	49	渡部 勇太
		阿部 裕梨
平18定卒	50	齊藤 尚也
		越山 宏恵
平19定卒	51	小松 純
		笠間まどか
平20定卒	52	大槻 法仁
		石神 明希
平21定卒	53	澤田 涼子
		釜澤 佑紀

卒業年度	期	氏名
平22定卒	54	阿部 貴大
		三浦 淑美
平23定卒	55	白河 卓也
		村岡 愛恵
平24定卒	56	船越 信幸
		大野 春花
平25定卒	57	衛藤 顕太
		辻 江梨花
平26定卒	58	佐藤 健児
		及川 紗希
平27定卒	59	川田 雄也
		千葉 智生
平28定卒	60	千葉藤吉郎
		今野 玲奈
平29定卒	61	今野 修人
		高瀬 弘里
平30定卒	62	菅原 悠介
		木元 実結
平31定卒	63	船越 裕晃
		鳴海 楓
令2定卒	64	大塚 良
		大八木梨紗
令3定卒	65	ダニス海 プレンネン
		松崎ねおん
令4定卒	66	辻 さくら
		西塚 愛美
令5定卒	67	渡部穂乃佳
		小野寺滉太
令6定卒	68	山田 遼真
		桜橋 海姫

●各期幹事長名簿【全日制課程】

卒業年度	期	役職名	氏名
昭21卒	市中1		
昭22卒	市中2	副幹事長	畠山 昇子
昭23卒	市中3	幹事長	
昭24卒	市中4	幹事長	
	市高1	幹事長	
		幹事	北原 高男
昭25卒	市高2	幹事長	工藤 博視
昭26卒	1	幹事長	寺林 靖夫
昭27卒	2	幹事長	林 徹男
昭28卒	3	幹事長	小川 幹雄
		副幹事長	五十嵐 正
昭29卒	4	幹事長	干場 武司
昭30卒	5	幹事長	波岸 順子
昭31卒	6	幹事長	阿部 信行
		副幹事長	九軒 勝志
昭32卒	7	幹事長	瀬川 哲男
昭33卒	8	幹事長	山本 昌史
昭34卒	9	幹事長	
昭35卒	10	幹事長	中村 秀雄
		副幹事長	
昭36卒	11	幹事長	谷中 則親
昭37卒	12	幹事長	平賀 久靖
		副幹事長	細谷美代子
昭38卒	13	幹事長	遠藤 剛
昭39卒	14	幹事長	城 章一
昭40卒	15	幹事長	横山 直史
昭41卒	16	幹事長	廣田 秀美
		副幹事長	斉藤佐智枝
昭42卒	17	幹事長	加藤 修
		副幹事長	大川 孝一
		副幹事長	石田由美子
昭43卒	18	幹事長	庄司 和晴
		副幹事長	池田 定博
昭44卒	19	幹事長	植村 俊幸
		副幹事長	鳴海 範子

卒業年度	期	役職名	氏名
昭45卒	20	幹事長	林 仁彦
昭46卒	21	幹事長	石田 悟
昭47卒	22	幹事長	菊地 一孝
昭48卒	23	幹事長	青山 隆之
昭49卒	24	幹事長	小泉 英一
昭50卒	25	幹事長	山内 一頼
昭51卒	26	幹事長	煙山 泰也
昭52卒	27	幹事長	野村 寛
昭53卒	28	幹事長	持丸 昭郎
昭54卒	29	幹事長	今宮 克明
昭55卒	30	幹事長	原田 一志
昭56卒	31	幹事長	西分 健二
昭57卒	32	幹事長	澤田 俊哉
昭58卒	33	幹事長	久保 友孝
昭59卒	34	幹事長	飛弾野文彦
昭60卒	35	幹事長	児玉 賢一
昭61卒	36	幹事長	江淵 賢一
昭62卒	37	幹事長	高田 和憲
昭63卒	38	幹事長	武田 要
平1卒	39	幹事長	大柳 智裕
平2卒	40	幹事長	富樫 明樹
平3卒	41	幹事長	村田 朋輝
平4卒	42	幹事長	細山 崇
平5卒	43	幹事長	佐藤 誉博
平6卒	44	幹事長	今村 速人
平7卒	45	幹事長	青葉 拓哉
平8卒	46	幹事長	上北 泰志
平9卒	47	幹事長	長町 康隆
平10卒	48	幹事長	中島 幹雄
平11卒	49	幹事長	池田 謙治
平12卒	50	幹事長	阿部 好幸
平13卒	51	幹事長	宇井 辰徳
平14卒	52	幹事長	大友 健司
平15卒	53	幹事長	野田 仁哉
平16卒	54	幹事長	楠美 拓也

卒業年度	期	役職名	氏名
平17卒	55	幹事長	北川 智貴
平18卒	56	幹事長	和賀 裕則
平19卒	57	幹事長	福森 翔太
平20卒	58	幹事長	川西 雄太
平21卒	59	幹事長	泉澤 知宏
平22卒	60	幹事長	和賀 俊太
平23卒	61	幹事長	中村 沙理
		副幹事長	佐藤 公耶
平24卒	62	幹事長	丸尾 秀樹
		副幹事長	平岡はるな
平25卒	63	幹事長	東崎 千晶
		副幹事長	吉澤 圭祐
平26卒	64	幹事長	渡辺 悠介
		副幹事長	金子ちひろ
平27卒	65	幹事長	古屋 龍
		副幹事長	下原みのり
平28卒	66	幹事長	吉野竜太郎
		副幹事長	田口 春香
平29卒	67	幹事長	白崎 優太
		副幹事長	三井 沙耶
平30卒	68	幹事長	倉橋 高矢
		副幹事長	井上 遥葉
平31卒	69	幹事長	中谷 紫温
		副幹事長	水野 花菜
令2卒	70	幹事長	櫻井 健太
		副幹事長	中川 弥乃
令3卒	71	幹事長	五十嵐駿征
		副幹事長	川崎帆乃花
令4卒	72	幹事長	矢澤 未侑
		副幹事長	片山 壮大
令5卒	73	幹事長	六車 奏人
		副幹事長	山崎 美晴
令6卒	74	幹事長	塩尻 彩翔
		副幹事長	野原 歌莉

幹事の皆様大変ご苦勞様です

◎各期幹事に異動がありましたら、同窓会事務局までご連絡ください。

【自宅】〒071-0528 空知郡上富良野町東8線北18号1番地22 水口 貴浩
 携帯電話 090-6266-9576

【勤務先】東中郵便局 TEL0167-45-2902



当番期



第58回 同窓会実行委員長
長町 康隆 (北高47期)

第58回旭川北高同窓会総会・懇親会の開催にあたりご挨拶申し上げます。

思い返すと昨年11月に前年当番期の実行委員の皆様との引継ぎを行い、我ら同期の当番となりました。早くから多く人数を集めたほうが良いよとアドバイスをいただいておりますが、高校時代から繋がっている同級生が少なく、また遠方が多かったためなかなか揃いませんでした。そんな中でも集まってくれた8名の仲間とコンパクトな実行委員会を作り試行錯誤しながら準備を進めてまいりました。本部役員や先輩幹事長の皆様には「大丈夫か。開催できるのか。」とかなりご心配をお掛けしていたと思います。

私が実行委員として様々な場面で感じたのは(北高の先輩として本当に頼りになる方ばかりだな)ということです。膨大な資料を作らなくてもわかりやすい資料を作っていたり、常に大丈夫かいと声をかけていただいた前年の当番期の方々、新しいことを始める際にも寛大で適切なアドバイスを下さった同窓会本部役員の方々、会誌作成にあたり寄稿していただく方を紹介して下さった方、ゴルフコンペ開催の協力を自ら買って出た方、広告掲載の依頼にも温かいお言葉とともに快くお引き受けいただいた方々等、振り返れば当然私たち実行委員会だけでは成し得なかった当会の開催や会誌の完成も前述の先輩方のおかげで無事に迎えることができました。心より厚く御礼申し上げます。

また、私が驚いたのは北高卒業生がこんなにも多方面で活躍されているのかということ。巻末の広告を見ていただきたいのですが、様々な業種の会社の経営者や法人の代表、医師や薬剤師等の医療関係、自治体の職員、飲食関係など多岐にわたり社会に貢献している同窓生が多くとても誇りに思いました。

最後にありますが、旭川北高ならびに旭川北高同窓会の益々のご発展と同窓生と在校生のご健康とさらなる活躍を心より祈念申し上げます。

次期当番期



第59回 同窓会実行委員長
中島 幹雄 (北高48期)

第58回旭川北高等学校同窓会が開催されますこと、誠におめでとうございませう。次期当番期の同窓会実行委員長として心よりお祝いの言葉を申し上げます。振り返りますと、北高を卒業したのが平成10年(1998年)。あれから26年の年月が経ちました。卒業した年に何があつたのか、思い出してみました。一番大きな出来事は冬季長野オリンピック。その時は大学受験真只中で、翌日の試験に備えて滞在していたホテルで、翌日のための受験勉強もせず、テレビでオリンピックを見ていました。そのせいで?志望大学には不合格、翌二年間の浪人生活となりました。他には、映画「タイタニック」ブーム、Windows 98発売、流行語は「だっちゅーの」...今思えば、つい最近のことのように思い出され、気持ちにはあの当時とあまり変わっていません。

たことが無いことに取り組んでいる時は、それが強く印象に残り、時間が長く感じます。一方、慣れたり、経験したことがあることに取り組むときは時間の長さがさほど気にならなくなり、あつという間に時間が過ぎたように感じます。一年があつという間に過ぎていく気がするのは、この考え方によるものかもしれません。

40代半ばを迎え、年々、一年があつという間に過ぎていく気がしております。これは、19世紀のフランスの哲学者ポール・ジャネによると、時間の経過の速さは、年齢に比例して加速するとのこと。これは、歳をとるにつれて自分の人生における1年の比率が小さくなるため、体感として1年が短く、時間が早く過ぎるのだそうです。

我々がこれから二年間取り組む次回同窓会に向けた様々な準備は、まさにこれまでの人生で経験したことがないことばかりで、とても時間が長く感じるのかもしれませんが、時間の感じ方は人それぞれですが、せつかくですから同期の仲間と楽しんで取り組みたいと思っております。また、同期と再会し、高校卒業後これまでの人生や現在の活躍を語り合えるのはとても楽しみです。今後の人生の財産にもなると思っております。

他にもこのような考え方があります。人は初めてのことや、それまで経験し

最後にありますが、旭川北高校並びに旭川北高同窓会のみならずのご発展と、第58回同窓会の成功をご祈念いたしまして、次期当番期実行委員長の挨拶とさせていただきます。

旭川北高同窓会 公式ウェブサイト

<https://www.kitako-dousou.com/>

The screenshot shows the homepage of the Kitako Dousou website. At the top, there is a navigation menu with the following items: TO YOU, EVENT, ACTIVITY, REUNION, OFFICE, and REPORT. The central logo features a stylized character '高' (Tak) and the text '旭川北高等学校同窓会' (Kitako Dousou). A 'ホーム' (Home) icon is located in the top right corner. Below the navigation is a large banner image of the Kitako High School building. Underneath the banner is a Facebook link button. The main content area is organized into a grid of nine thumbnail images, each with a title and a 'CLICK' button:

- 卒業生の方へ (TO YOU)
- 総会のご案内 (EVENT)
- 総会の様子 (ACTIVITY)
- 同窓会 (REUNION)
- 事務局 (OFFICE)
- 会報 (REPORT)
- コミュニティ (COMMUNITY)
- 同窓会のリンク (LINK)
- 懐かしのフォトギャラリー (PHOTO GALLERY)

応援歌

ねっせるちしおやけんじのき そのなもた一かききたこうの
 えいーよ さんたり わがともーよ
 たたか わん いきーも ひのごとし

応援歌

高橋国二 作詞
 熊崎清志 作曲

一、熱せる血潮や 健児の気
ねっ ちしお けんじのき

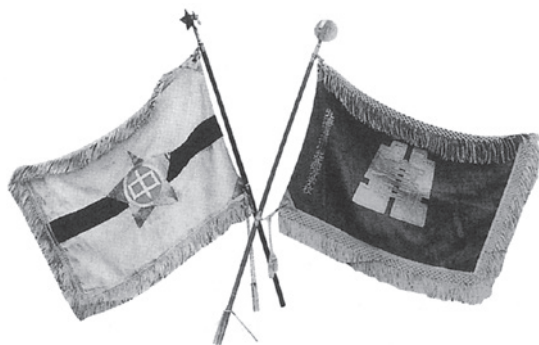
その名も高き(北市高中)の
 栄誉燦たり 我が友よ
 戦わん意気も 火の如し

二、見おや祖国の中堅と
み おや ぞこく ちゆうけん

その名も高き(北市高中)の
 鍛えあげたる 我が選手
 邀える敵も 何のその

三、青空高き
あおぞら たか

グラウンドに 優勝の旗うち振りて
 天にも轟く 万才の
 勝関あげむ 我を見よ



旭川北高同窓会だより 第47号 令和6年8月1日発行

発行所／旭川北高等学校同窓会（旭川市花咲町3）

発行人／同窓会会長 山本 淳一

編集／旭川北高等学校同窓会文化部・旭川北高等学校同窓会第58回総会実行委員会

印刷／榊総北海 旭川市工業団地2条1丁目1番23号 TEL(0166)36-5556

第58回 旭川北高等学校 同窓会総会

◇総会次第

1. 開 会 の こ と ば
2. 校 歌 斉 唱
3. 来 賓 紹 介
4. 同 窓 会 会 長 挨 拶
5. 来 賓 挨 拶
6. 議 長 団 選 出
7. 議 事
 - (1) 会 務 報 告
 - (2) 会 計 報 告
 - (3) 会 計 監 査 報 告
 - (4) 役 員 改 選 に つ い て
 - (5) 次 期 当 番 期 紹 介
 - (6) そ の 他
8. 議 長 団 退 任
9. 招 待 期 へ の 記 念 品 贈 呈
10. 閉 会 の こ と ば

◇懇親会次第

1. 開 会 の こ と ば
2. 実 行 委 員 長 挨 拶
3. 開 演
 - (1) 応 援 歌 斉 唱
 - (2) 乾 杯
 - (3) 抽 選 会
4. 次 期 当 番 期 代 表 挨 拶
5. 閉 会 の こ と ば
6. 結 び (北 高 万 歳 三 唱)